



2024年3月期 投資家説明資料

2024年5月10日（金）

A I A I グループ株式会社（東証グロース市場：6557）

目次

1. 2024年3月期の通期実績
2. 2025年3月期 業績予想
3. 会社概要
4. A I A I グループの経営方針（A I A I 三育圏）
5. A I A I グループの優位性

2024年3月期 通期実績（損益計算書）

新たにAIAI NURSERY5施設※を開設したほか、既存施設の園児数の増加及び運営委託補助金の年度末調整等により売上高は11,818百万円。保育士の処遇改善による人件費増があったものの、売上高の増加が上回った結果、営業利益は532百万円、経常利益は875百万円。特別損失（減損損失）の計上もあったものの実効税率の改善等もあり当期純利益は353百万円。

※ うち1施設は定員を拡大し移転

(百万円)	2023年3月期		2024年3月期		前年差
売上高	10,822		11,818		+996
売上総利益	1,346	12.4%	1,735	14.7%	+389
販売管理費	1,266	11.7%	1,203	10.2%	△63
営業利益	80	0.7%	532	4.5%	+452
経常利益	413	3.8%	875	7.4%	+462
当期純利益	△506		353		+859

* 単位未満切捨

2024年3月期 通期実績 (キャッシュ・フロー計算書)

営業活動によるキャッシュフローは、前年度から+894百万円の1,767百万円。

フリーキャッシュフローは、前年度から+1,084百万円の1,148百万円。

財務活動によるキャッシュフローは、長期借入金の返済による支出等により△1,079百万円の△786百万円。

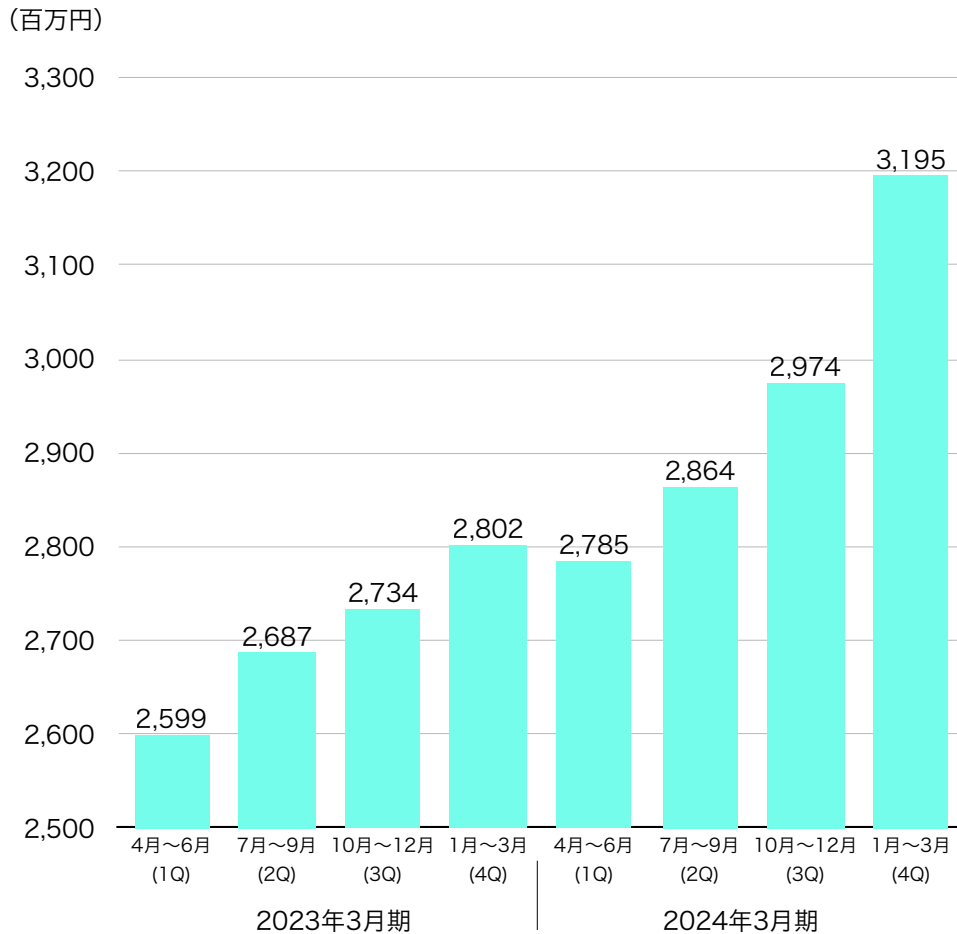
(百万円)	2023年3月		2024年3月期	
	実績		実績	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	873		1,767	+894
投資活動によるキャッシュフロー	△809		△619	+190
財務活動によるキャッシュフロー	293		△786	△1,079
現金及び現金同等物の期末残高	1,306		1,668	+362

* 単位未満切捨

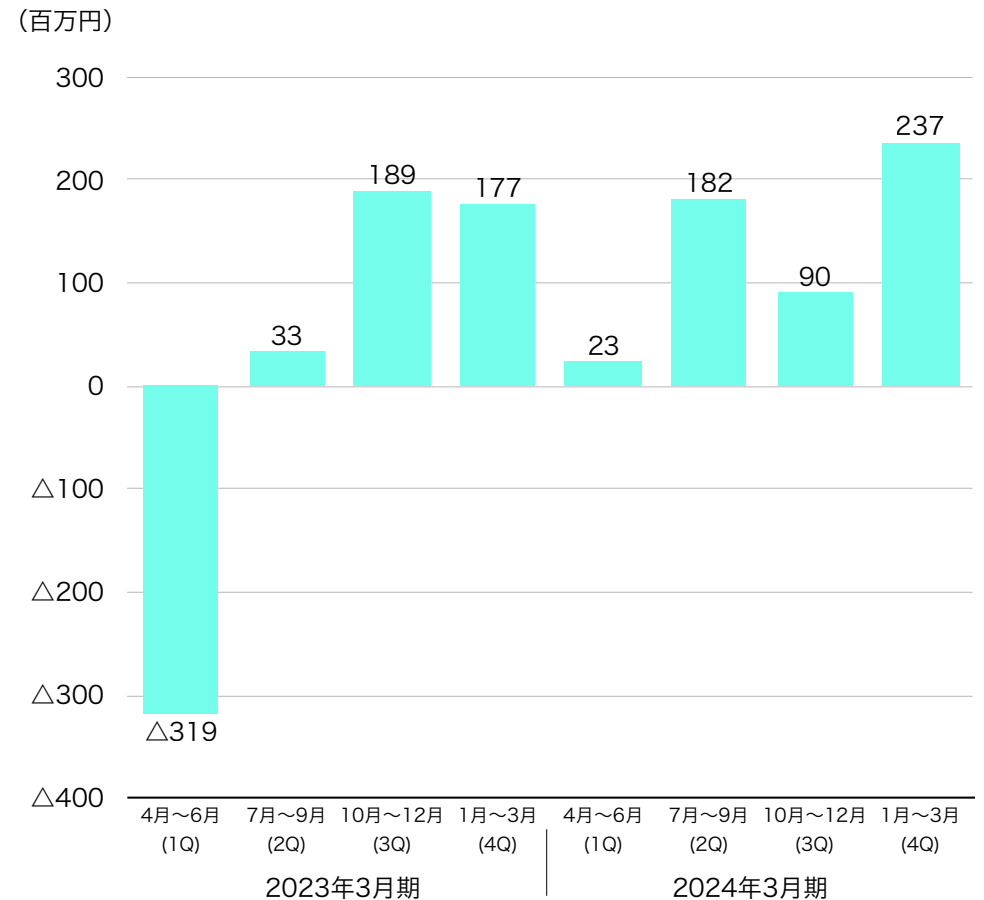
四半期会計期間推移①

売上高はAIAI NURSERYにおける新規開設施設による定員拡大・園児数増加等も背景に堅調に推移。
保育士の処遇改善による人件費増があったものの、運営委託補助金の年度末調整等もあり当第4四半期
会計期間の営業利益は237百万円。

売上高



営業利益



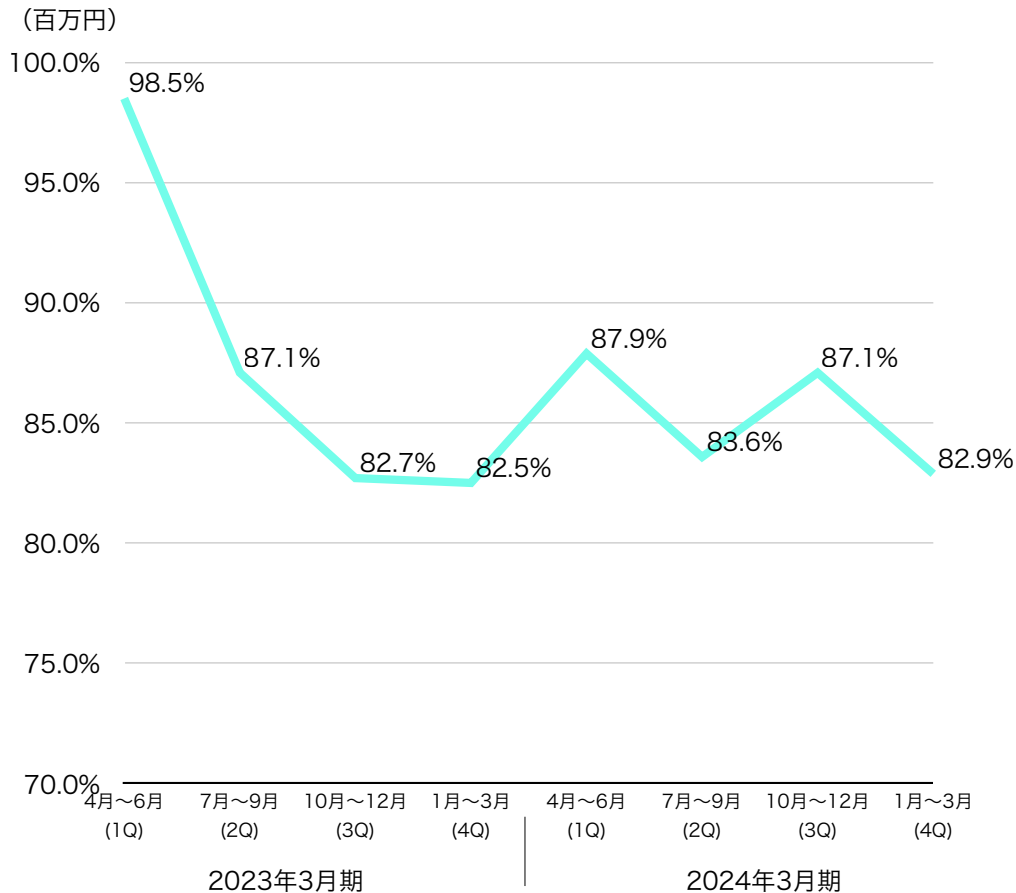
* 単位未満切捨

四半期会計期間推移②

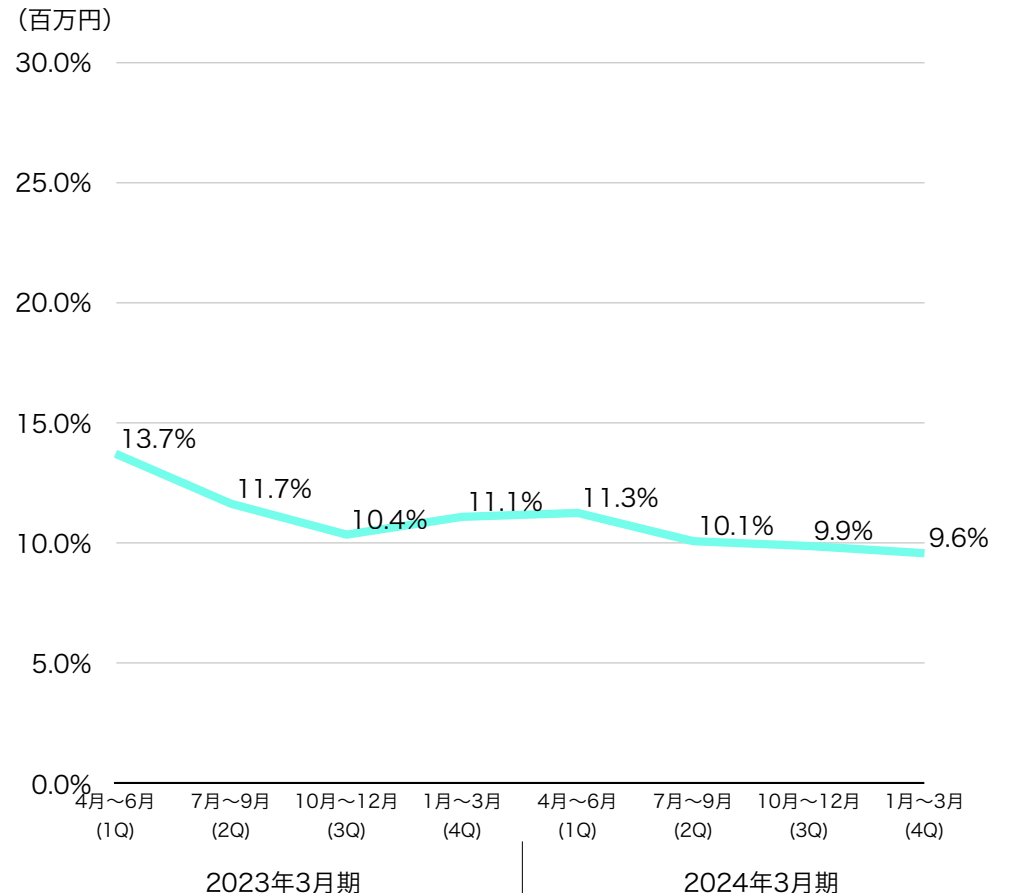
売上高原価率は、第3四半期に令和5年人事院勧告に伴う保育士の処遇改善の一部を計上したこと等から一時的に増加したものの第4四半期には回復。売上高販売管理費率はこれまでと同程度の水準で推移。

※ 2023年12月6日付子ども家庭庁育成局保育政策課公定価格担当室事務連絡「令和5年人事院勧告に伴う国家公務員給与改定を踏まえた令和5年度補正予算における公定価格の取扱いについて」

売上高原価率の推移



売上高販管費率の推移



* 小数点第2位四捨五入

四半期会計期間推移③損益全体

(百万円)	2023年3月期					2024年3月期					前年四半期比	直前四半期比
	2022年 4月～6月 (1Q)	2022年 7月～9月 (2Q)	2022年 10月～12月 (3Q)	2024年 1月～3月 (4Q)	累計	2023年 4月～6月 (1Q)	2023年 7月～9月 (2Q)	2023年 10月～12月 (3Q)	2024年 1月～3月 (4Q)	累計	前4Q：当4Q	当3Q：当4Q
売上高	2,599	2,687	2,734	2,802	10,822	2,785	2,864	2,974	3,195	11,818	+393	+221
売上原価	2,560	2,341	2,261	2,313	9,475	2,448	2,393	2,591	2,650	10,082	+337	+59
売上総利益	38	346	473	489	1,346	337	471	383	544	1,735	+55	+161
販管費及び一般管理費	357	314	283	312	1,266	314	288	293	308	1,203	△4	+15
営業利益	△319	33	189	177	80	23	182	90	237	532	+60	+147
経常利益	△337	△17	163	604	413	△3	157	71	650	875	+46	+579
税引前四半期(当期)純利益	△383	△444	163	440	△224	△2	11	71	432	512	△8	+361
四半期(当期)純利益	△268	△568	107	223	△506	12	6	46	289	353	+66	+243

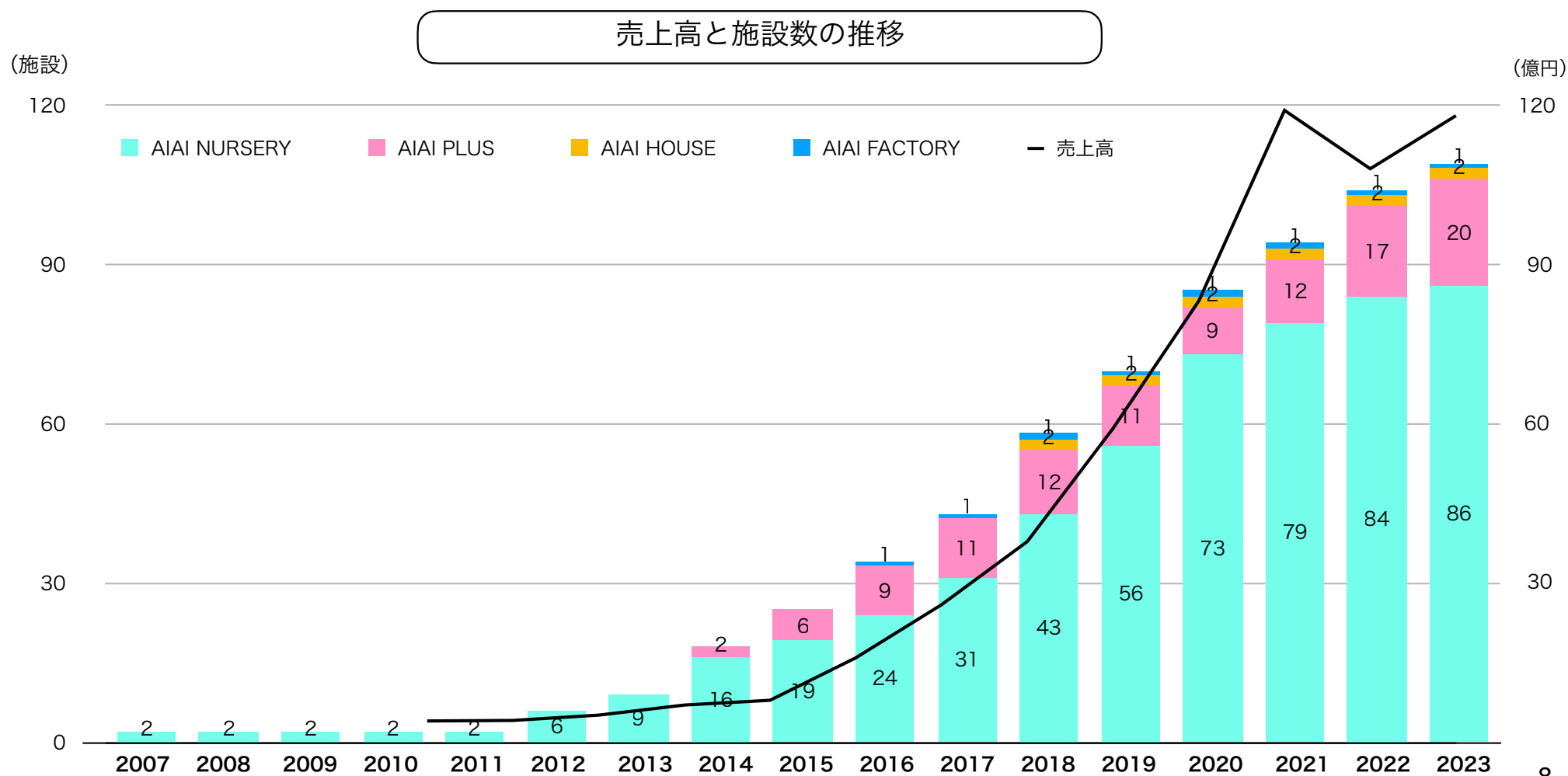
* 単位未満切捨

売上高・施設数の推移

施設数の増加に伴い売上高も増加基調を維持。

2023年4月に新たにAIAI NURSERY5施設※を開設したほか、12月にAIAI PLUSを1施設開設、さらに2024年2月に新たにAIAI PLUS2施設を開設し、2024年3月期のグループ合計施設数は109施設。

※ うち1施設は定員を拡大し移転



* 2021年度は15ヶ月変則決算。施設数は2024年3月末時点。

AIAI NURSERY（認可保育）の園児数および充足率の状況

4月から新たにAIAI NURSERY5施設※を開設するとともに既存施設の充足率も向上し園児数が増加
充足率は定員数拡大により4月に一時的に低下したものの、その後上昇し前年度を上回る水準で着地

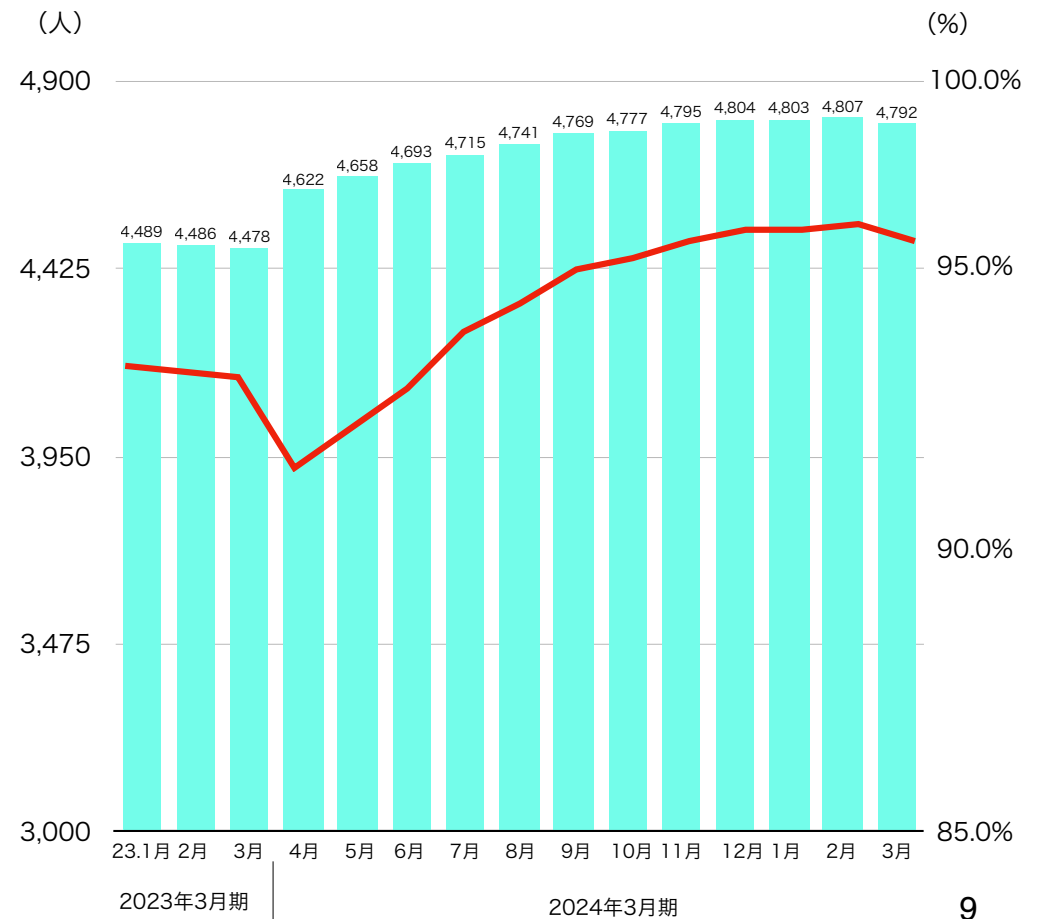
※ うち1施設は定員を拡大し移転

園児数の状況

	2024年3月 在籍数(人)	充足率
0歳児	463	102%
1歳児	875	103%
2歳児	916	99%
3歳児	919	95%
4歳児	839	89%
5歳児	780	86%
合計	4,792	95%

* 小数点以下四捨五入

園児数及び充足率の推移



2025年3月期 業績予想

2025年3月期は、AIAI NURSERY 3施設を新規開設して売上高及び利益規模の伸長を図る一方で、AIAI NURSERYの前期比での新規開設施設数の減少及び保育所等訪問支援サービスの拡大に向けた費用も見込み、売上高12,100百万円、営業利益500百万円、経常利益600百万円、当期純利益400百万円の見通し。

※尚、AIAI Life Care株式会社の株式譲渡にかかる基本合意書締結を2024年4月30日付「子会社の異動（株式譲渡）に関する基本合意書締結のお知らせ」にて公表済

(百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 業績予想
売上高	11,818	12,100
営業利益	532	500
経常利益	875	600
当期純利益	353	400
1株あたり当期純利益（円）	114.71	129.12

* 単位未満切捨

会社概要

会社名 A I A I グループ株式会社

創業 2007年1月

代表者 貞松 成

所在地 東京都墨田区錦糸1-2-1

事業 認可保育所、児童発達支援事業所の運営、等

事業所 AIAI NURSERY (87か所)
AIAI PLUS (21か所)、他 (2024年4月時点)

役員
取締役CHO 加地 義孝
取締役COO 木本 彰
取締役CFO 戸田 貴夫
取締役 内田 昌昭 (監査等委員)
社外取締役 野口 洋 (監査等委員)
社外取締役 豊泉 美穂子 (監査等委員)



代表取締役社長兼CEO
貞松 成 博士 (教育学)

ビジョン

社会課題を解決し、世の中に貢献する

- ・早稲田大学大学院政治学研究科修了
- ・大阪総合保育大学大学院児童保育研究科
最優秀論文 玉置哲淳賞受賞

- 2007年 株式会社global bridge 創業
・あい・あい保育園を千葉市幕張に開園
- 2011年 大阪市に関西オフィスを開設
・Child Care Systemを販売開始
- 2015年 株式会社global bridge HOLDINGSを設立
・持株会社体制へ移行
- 2017年 東京証券取引所TOKYO PRO Marketに上場
・本社を現在地 (東京都墨田区錦糸) に移転
- 2019年 東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場
- 2022年 A I A I グループ株式会社に社名変更
・グロース市場へ移行

経営陣



株式会社AOKIホールディングスのグループ経営企画担当を経て、子会社経営企画責任者としてファッション関連新規事業ORIHICAの立上げ、およびその事業拡大に貢献。同事業が100店舗を超え、一定の事業規模に成長した後は営業部責任者の一人として、首都圏の店舗統括に従事。2016年に株式会社global bridge HOLDINGS（現AIAIグループ株式会社）に参画。2016年12月同社取締役COO就任、2020年4月同社取締役CHO就任。



株式会社東急ストアに入社後、開発担当として標準店の新規出店や、高級スーパー「プレッセ」の田園調布、東京ミッドタウンへの出店を担当。2009年に執行役員就任以降、初のショッピングセンターの「フレル」や駅ナカ業態の「フードステーション」の開発による成長戦略を進めた。一方で様々な運営コストカットを推進し収益基盤の強化に貢献。2020年に株式会社global bridge HOLDINGS（現AIAIグループ株式会社）に参画。



三井物産株式会社に入社後、本店においては、経理、全社BPR及び情報戦略企画などの経営企画、内部統制などの管理部門を幅広く担当。その間、ドイツ及び英国での通算9年間の海外勤務を経験、特に在英グループ事業会社では、CFOとしてPMI及びM&Aを現場の最前線で陣頭指揮した。また、海外グループ事業会社の取締役、監査役経験。2020年6月にAIAIグループ株式会社に財務経理部長として参画。2021年3月同社取締役CFO就任。



株式会社セブン-イレブン・ジャパンに入社。店舗経営相談員、新規店舗の開発を担当。1991年に立地調査部門の責任者として「売上予測システム」や出店戦略、候補地開発手法の「出店情報地図方式」を構築し、売上優良店舗の開発に貢献。2005年にリクルート部総括マネージャーに就任。2020年にAIAIグループ株式会社に参画。2023年6月より同社取締役監査等委員に就任。



公認会計士。早稲田大学卒業後、1991年にセンチュリー監査法人（現EY新日本有限責任監査法人）に入所。2010年にライクアカデミー株式会社に入社。その後、ライクキッズネクスト株式会社に転籍し、2011年同社取締役、2015年同社代表取締役。2016年に株式会社トビムシに入社、同社代表取締役。2016年3月にAIAIグループ株式会社に社外取締役として参画。2021年3月、同社社外取締役監査等委員に就任。



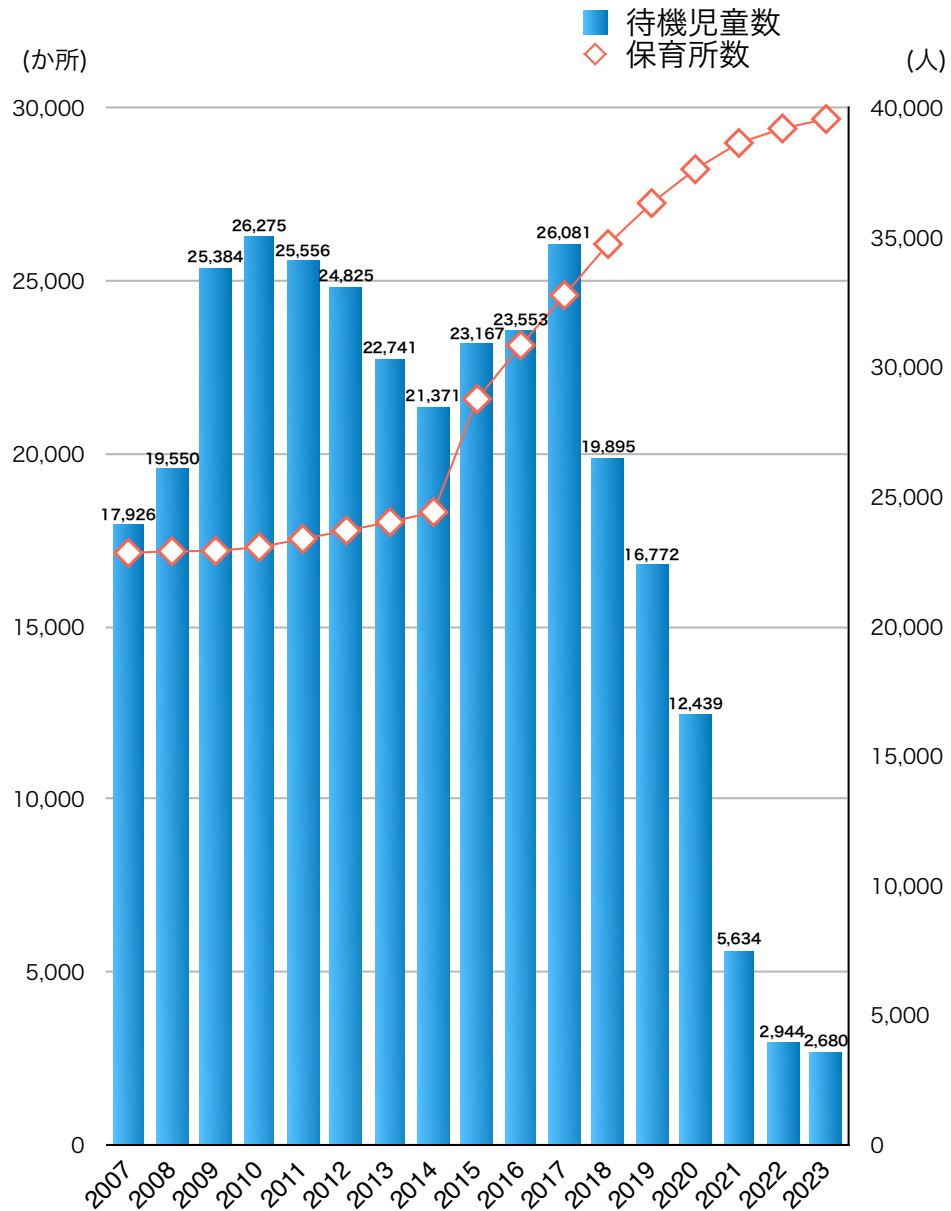
弁護士。東京大学法学部卒業後、司法修習（57期）を経て、2004年、東京地方裁判所判事補に任官し、刑事事件を担当。2006年に結婚を機に退官・弁護士登録（東京弁護士会）。その後、みなと協和法律事務所にて、企業法務並びに個人事件などを幅広く手がける。2021年4月、AIAIグループ株式会社に社外取締役監査等委員として参画。

AIAIグループ

AIAIグループ株式会社



保育事業参入の経緯



出所：厚生労働省「保育所関連状況取りまとめ」

AIAI NURSERY

認可保育所

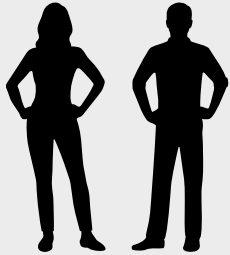
87か所



AIAI NURSERY の幼児教育

アンケートに基づき、現場の提案に沿って独自にカリキュラム化

保護者アンケート



保護者アンケートに基づき
思考教育・知識教育・運動教育を
取り入れ、プログラム化

重視している保育内容

- | | |
|---------|-------|
| 1. 思考教育 | 70.7% |
| 2. 運動教育 | 68.0% |
| 3. 食育 | 49.4% |
| 4. 表現教育 | 38.6% |
| 5. 知識教育 | 38.1% |
| 6. 英語教育 | 31.7% |
| 7. 音楽教育 | 17.9% |
| 8. 課題教育 | 12.9% |

※2023年度の保護者アンケート (n=4,296)

AIAI NURSERY の幼児教育

知識教育



ひらがな・かたかな



kekoro
lingua

思考教育



Breakit
Kids



幼児算数講座
IQパズル 図形 思考力

保育士によるカリキュラム化



幼児教育のカリキュラム化において
はAIAI NURSERYの保育士が考案

週間スケジュール

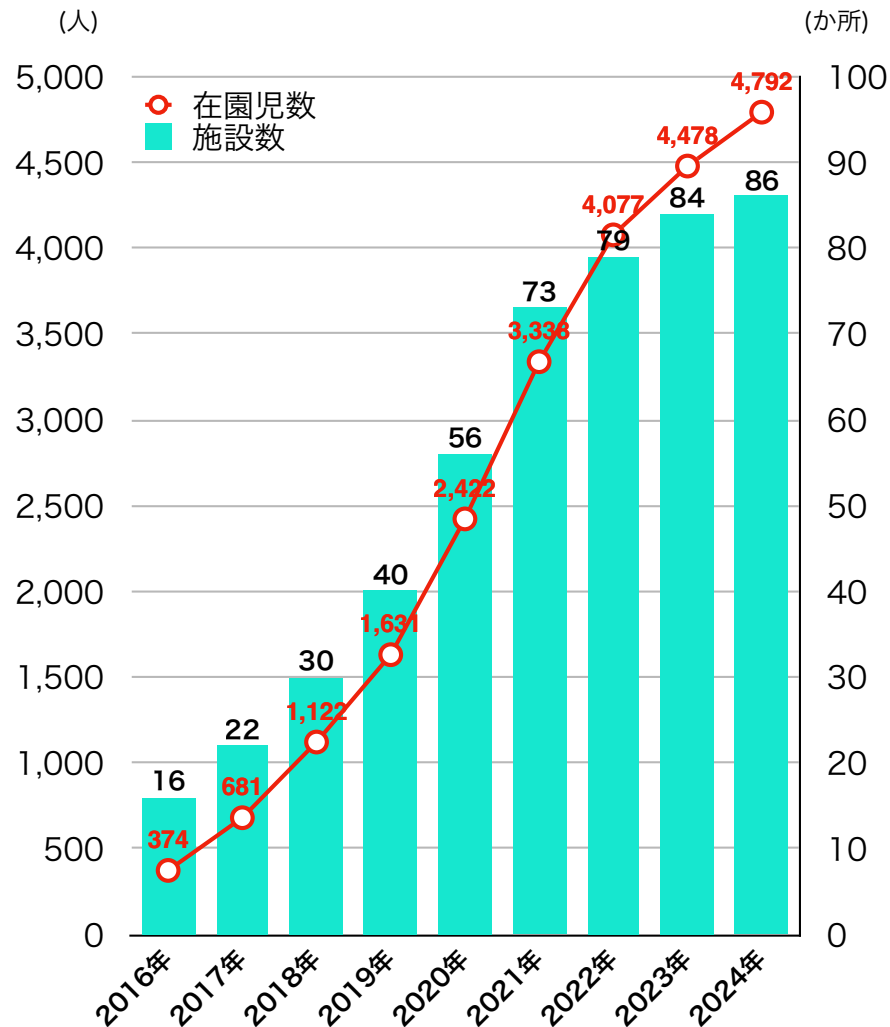
- | | |
|-------|------|
| 知識教育 | 年40回 |
| 3歳クラス | 水曜日 |
| 4歳クラス | 金曜日 |
| 5歳クラス | 金曜日 |
| 思考教育 | 年40回 |
| 3歳クラス | 月曜日 |
| 4歳クラス | 水曜日 |
| 5歳クラス | 月曜日 |

AIAI NURSERY の園児数

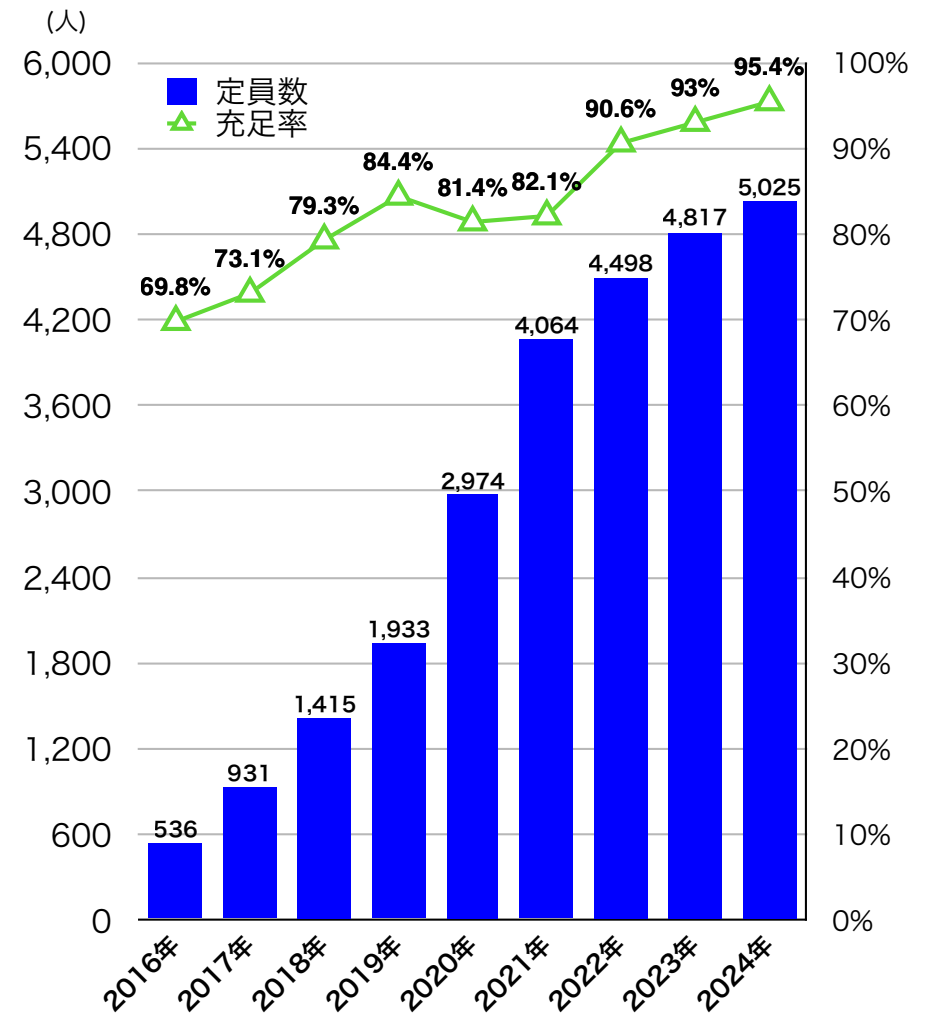
AIAI NURSERYの増加に伴い、園児数も増加

定員数も増加したが、幼児教育導入後は充足率も向上し、過去最高の充足率を更新

AIAI NURSERYの施設数と園児数の推移



AIAI NURSERYの定員数と充足率の推移

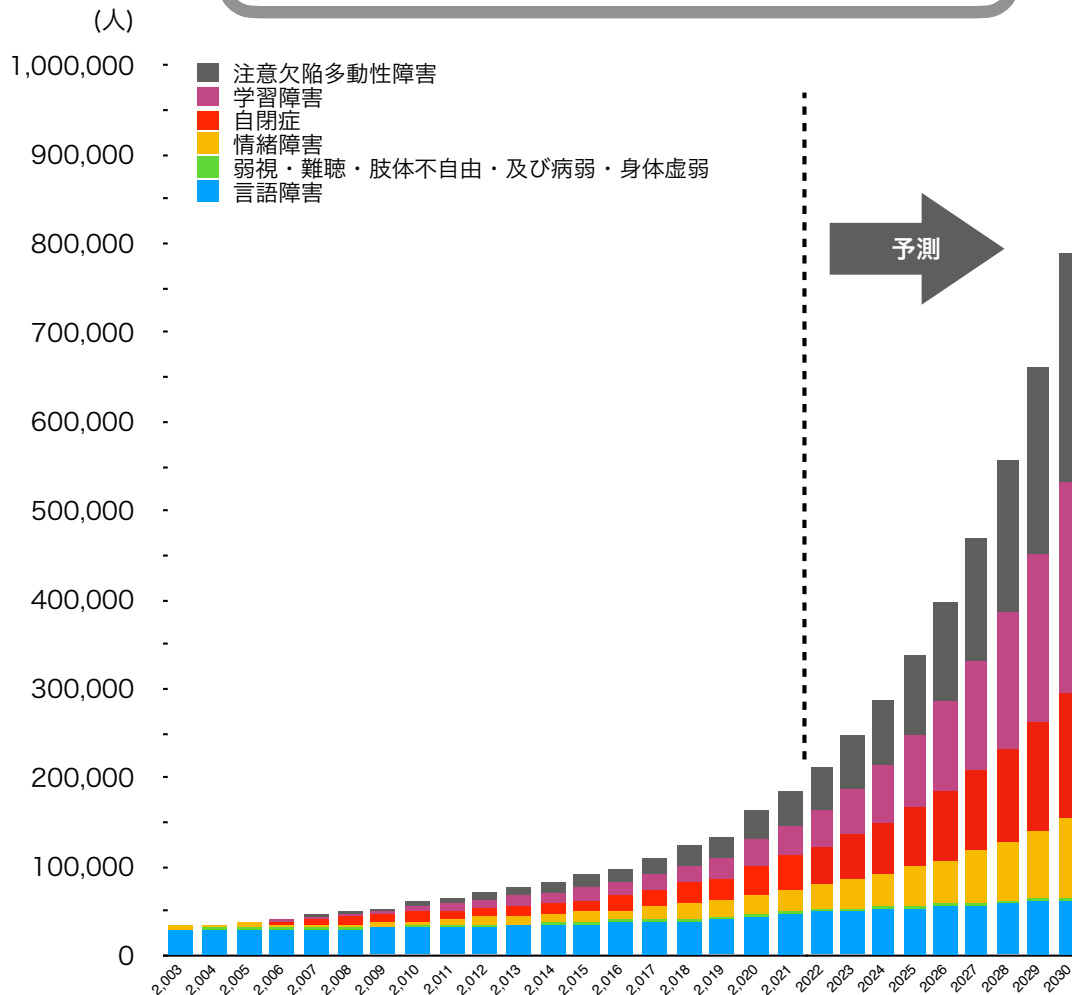


AIAI PLUS (療育事業) 参入の経緯

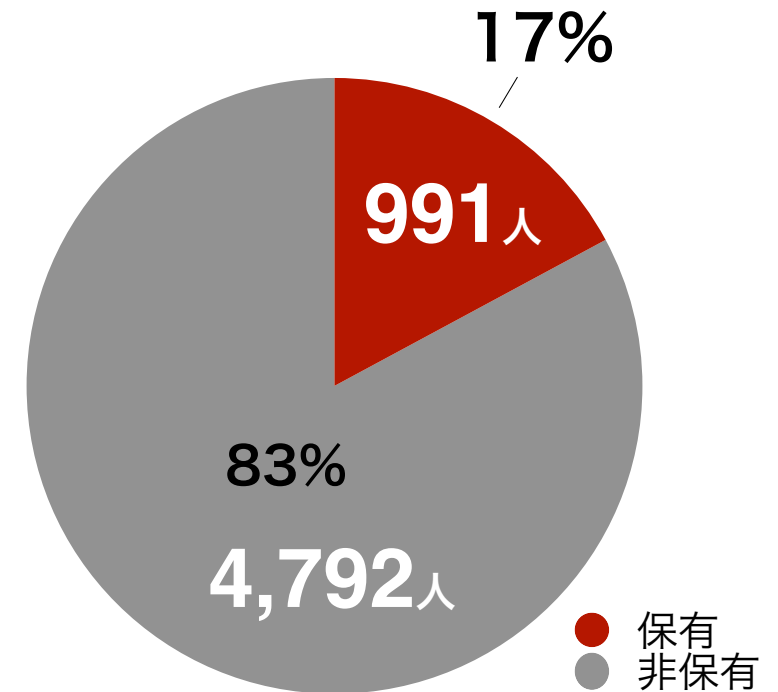
少子化が進む中で発達障害児数は急激に増加。その勢いは加速している。

AIAI NURSERYの園児約5,000人のうち、発達障害児童数は約991人

通級による指導を受けている児童生徒数の推移



AIAI NURSERYの園児のうち
障害福祉サービス受給者証を保有する割合

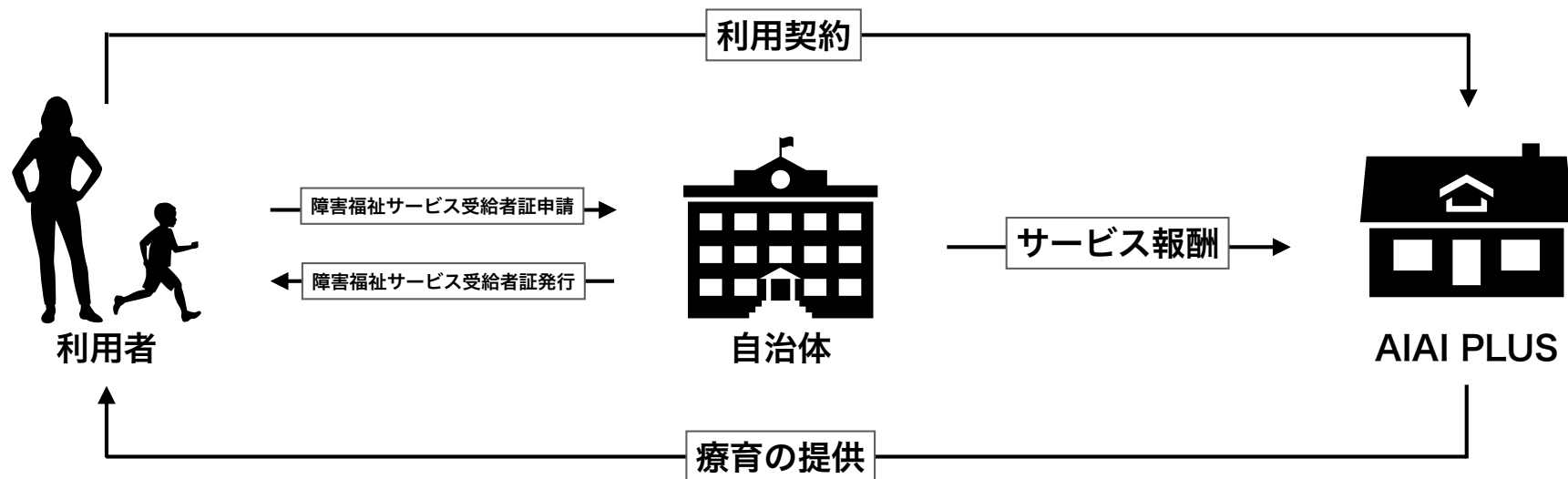


各園に特別教育を必要とする園児が10人以上が在籍している

*「特別教育支援資料(令和3年度)」(文部科学省 令和4年11月)より出典
・2021年以降は、過去の年平均の増加率から算出した当社推計値。

AIAI PLUS について

AIAI PLUSのビジネスモデル



AIAI PLUS独自の療育スタイル



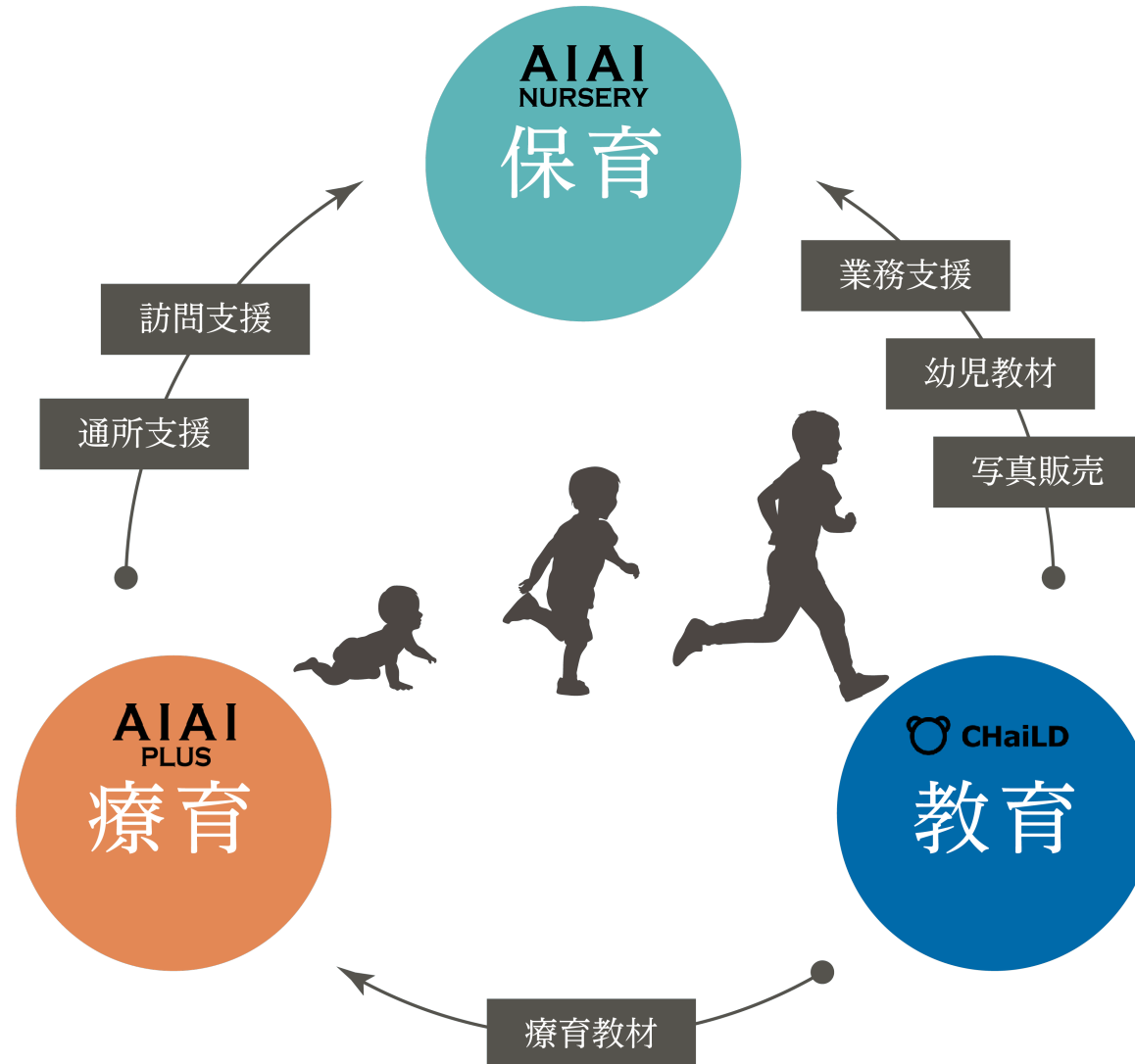
導入数No.1の思考教育プログラム



作業療法士監修の運動プログラム

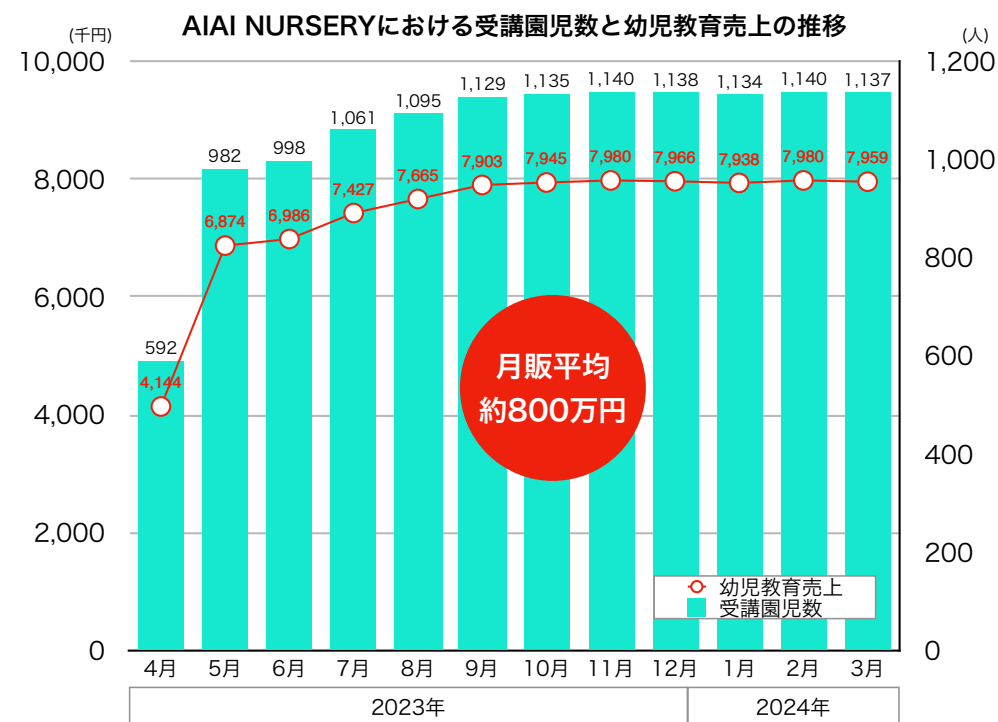
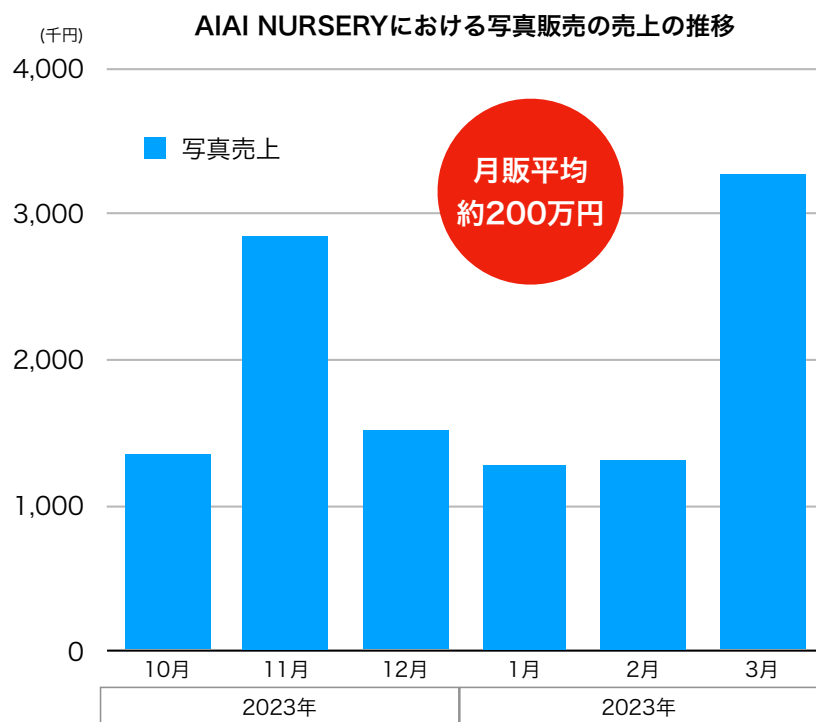
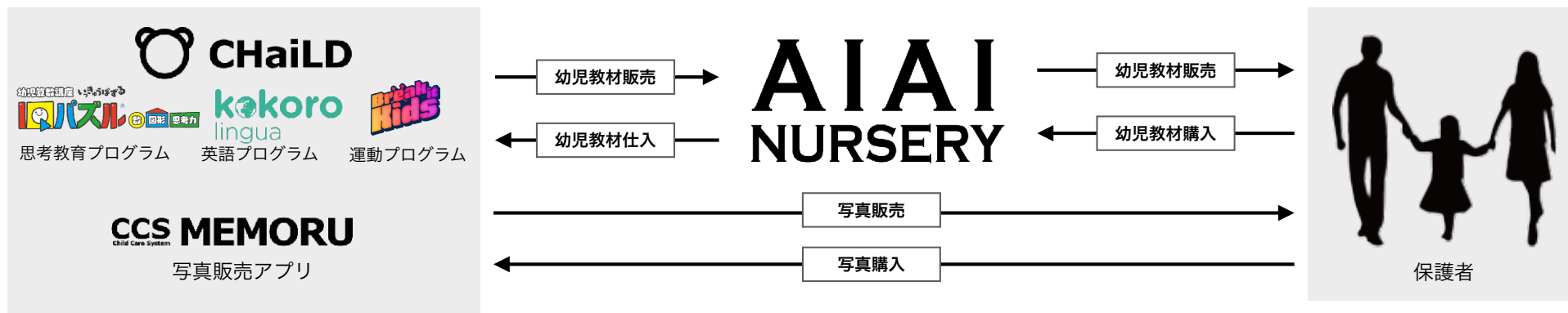
AIAI 三育圏

AIAI NURSERYの全ての園児に対して、教育と療育を提供する体制を自社内に構築



AIAI 三育圏 による高い生産性の実現 (教育)

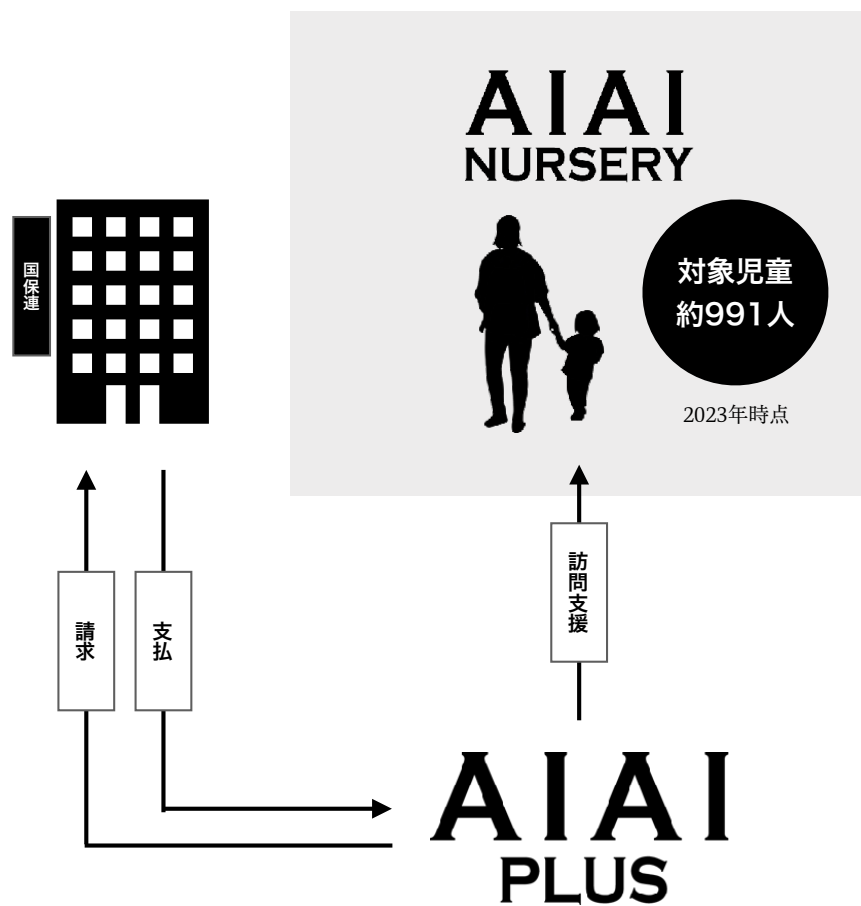
① AIAI NURSERYの利用者に対して付加的保育として幼児教育を提供



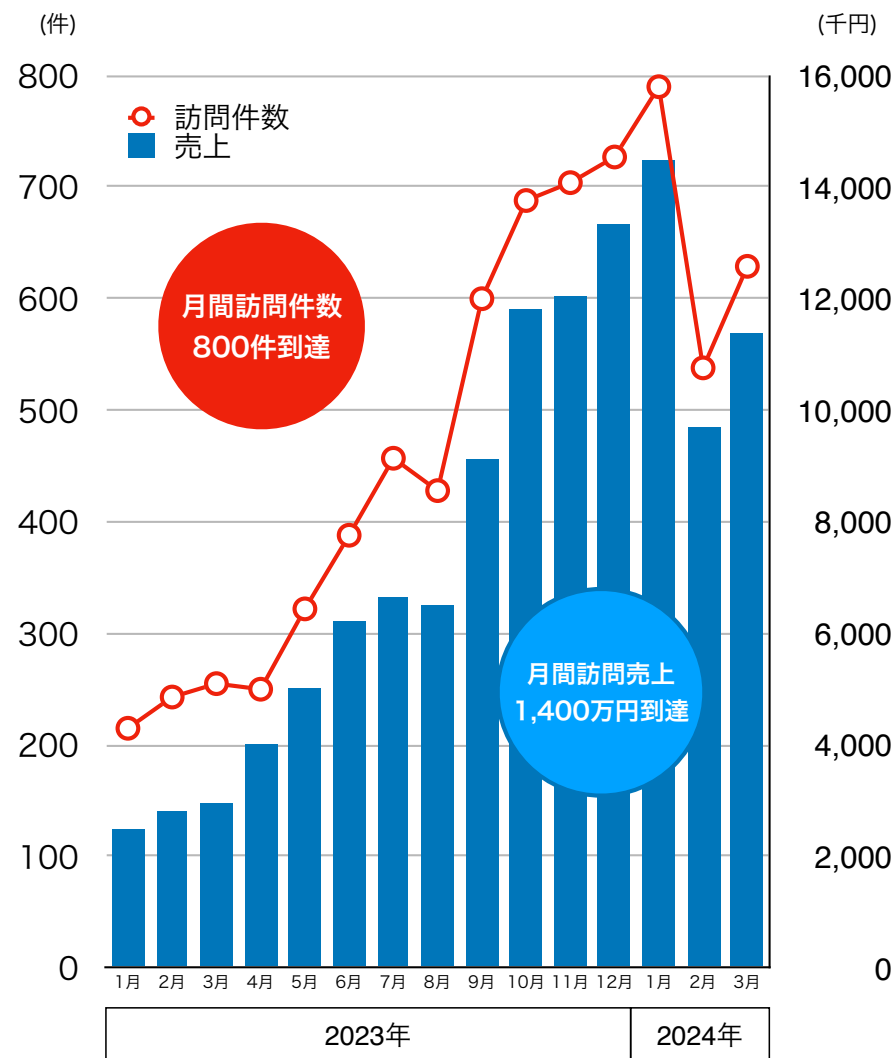
※1 付加的保育：保育所保育指針が示す基本原則を逸脱しない範囲での付加的な保育について、保護者に対して説明し、保護者の同意を得られれば、保護者負担において実施する保育を指す。
厚生労働省子ども家庭局保育課（2017）「規制改革推進に関する第2次答申」を踏まえた具体的な留意事項等について

AIAI 三育圏 による高い生産性の実現 (療育)

②AIAI NURSERYに通う配慮が必要な園児に対して療育を提供



AIAI NURSERYへの訪問支援件数と売上の推移



AIAI 三育圏 による高い生産性の実現

AIAI NURSERYの保育士の給与水準は業界平均と比較して若年層であっても高待遇を実現
高い生産性はA I A I 三育圏の構築による企業努力の成果

保育士の声から月給に比重を置いた給与形態を設計

業界平均
平均年齢：38.8歳
平均月給：26.68万円
平均賞与：71.21万円
平均年収：391.37万円

AIAI NURSERY
平均年齢：33.1歳
平均月給：31.00万円
平均賞与：27.46万円
平均年収：399.46万円

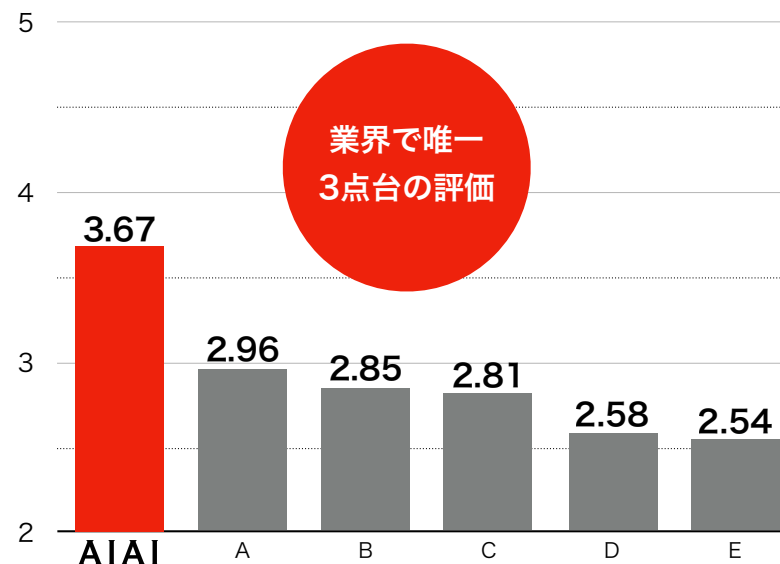


当社の役職・年代別の年収額

保育士		施設長	
20代	446万円	20代	535万円
30代	516万円	30代	703万円
40代	506万円	40代	700万円
50代	447万円	50代	672万円
60代	407万円	60代	694万円

もっとも高い年収額を表示

(★) 口コミ情報サイトの評価



出所：厚生労働省「令和4年賃金構造基本統計調査」
※AIAI NURSERYは2023年度実績

AIAIの教育体制

保育の業務と品質の標準化のために複数の取り組みを実行。

現場から抽出した現場の課題を実態に合わせて、調査・研究し、研修手法を開発。

AIAI教科書シリーズ

標準化のために、入社1年目から施設長までの段階に分けて身に付けるべき知識と考え方をまとめた教科書を作成。研修資料として活用。



1on1

意欲的に働き活躍することを支援するために、対面形式で日々の業務やキャリアなどについて話す1on1を採用。



就労の心得

過去の事例から現場で気持ちよく働くための作法や考え方を集約した「就労の心得」を作成。問題や事故の発生の予防のために、日々の言動と照らし合わせるために活用。



ライセンス制度・大学院進学

施設長と主任への昇格のための社内基準を設定し、合格者にはライセンスを付与。

審査では外部の有識者が採点。

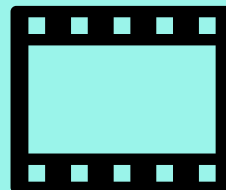
ライセンス取得より大幅に待遇が向上。

専門性とモチベーションの向上に寄与。

施設長ライセンス一級の合格者の中から、本人の希望と適正に応じて大学院進学を全額社費にて推奨。これまで複数名の施設長が大学院を修了し、教育学の修士号を取得。

ビデオ・リフレクション

研修時間の確保が難しい現場において、もっとも学びの生産性が高い研修手法であるビデオ・リフレクションを採用。毎月、実施。



海外フィールドワーク研修

毎年、当社保育士が北欧や東南アジアへのフィールドワークに参加。

日本と海外の違いを比較分析。



AIAIの研究体制

現場（Field）の課題を把握して調査研究（Research）を行い、当社の主事業に関連した研究を実施
研究結果は全て査読付き学会誌に投稿し論文化し、研修教材・品質向上・特許取得などの成果（Output）

Field



データ収集

Research



分析

Output

論文投稿

7編

査読済

8編

研究中

特許取得

発明の名称
発達確認装置、発達確認方法、及びプログラム
特許番号 特許7179217

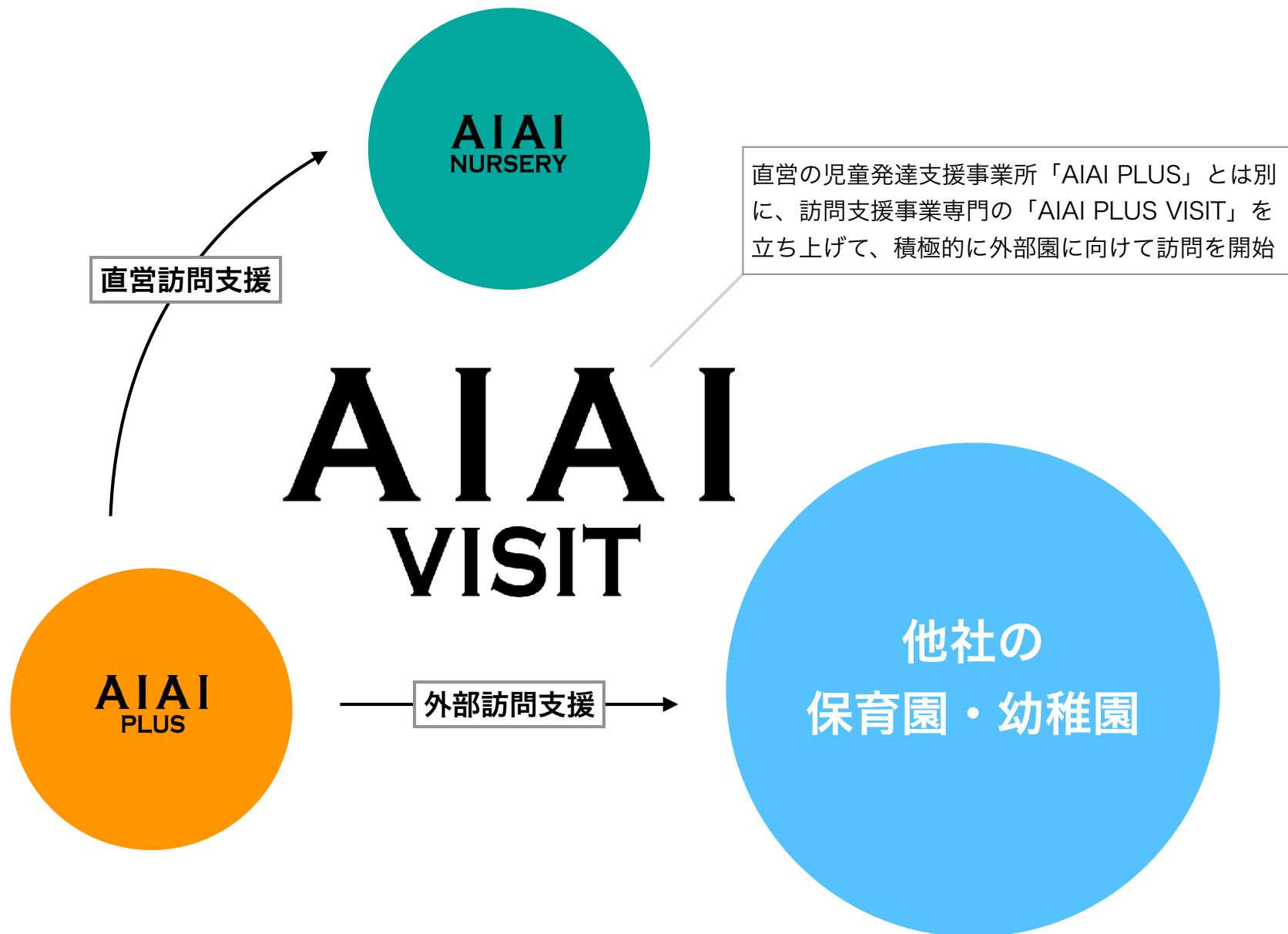
研修教材



品質向上

- ・ 幼児教育のエビデンス強化
- ・ 不適切保育と虐待予防の強化
- ・ 保育士育成の生産性向上

AIAI 三育圏の拡大戦略



保育所等訪問支援事業の必要性

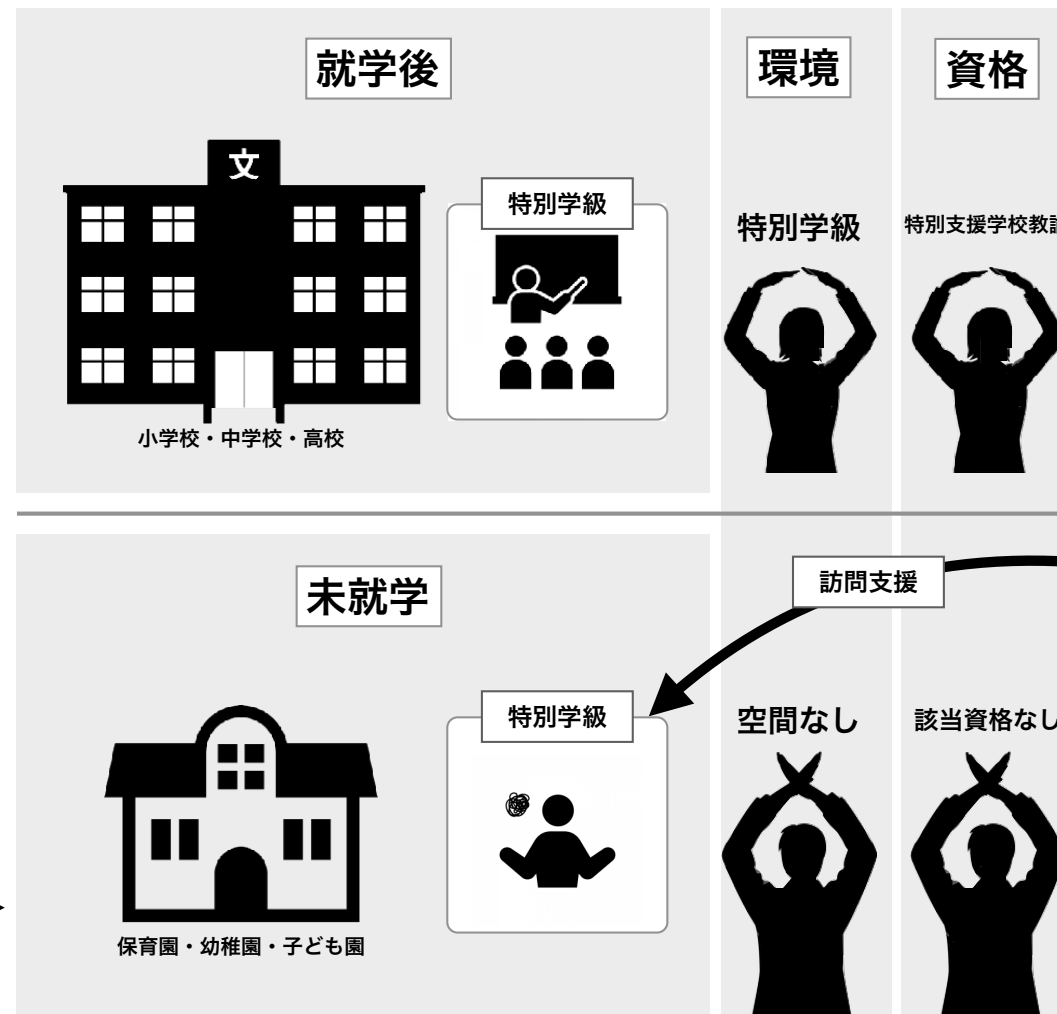
保育園・幼稚園には特別学級がなく、支援員が訪問して療育を提供する必要がある

AIAI PLUS VISITは、AIAI NURSERY以外の保育園・幼稚園を広範囲で訪問して療育を提供する

・ほとんどの園児は乳幼児健康診査を受ける生後18ヶ月未満で入園することが一般的

・入園時点において保育者や保護者が園児の発達について把握できない

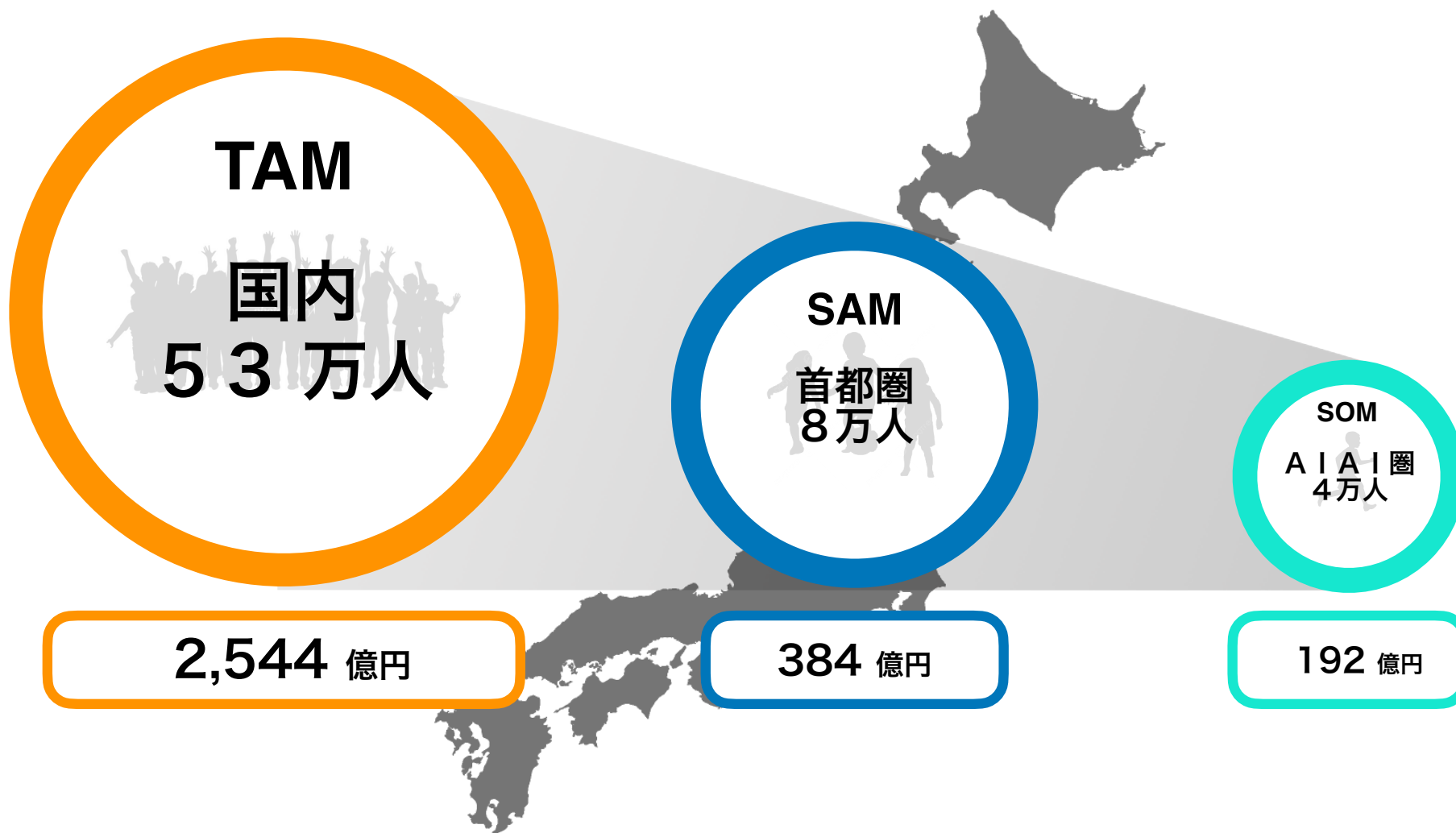
・入園後においても園内には障害児保育の経験者や作業療法士等の専門職が不在



AIAI
VISIT

AIAI VISIT の市場規模

全国の受給者証を持つ未就学児数は約53万人と巨大市場
AIAI PLUSの直営施設から訪問可能な範囲だけでも4万人
新規事業AIAI PLUS VISITでは首都圏内の市場をねらう

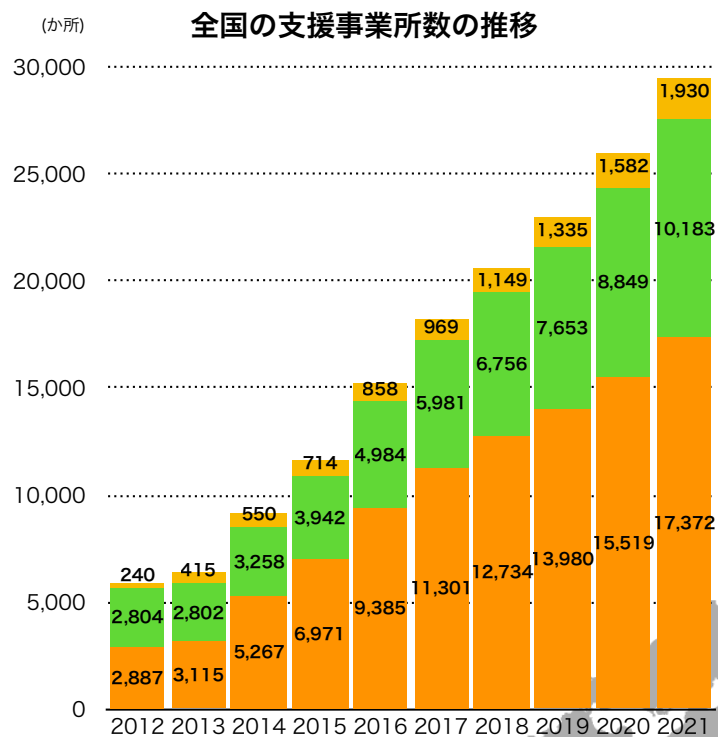


AI AI VISIT の市場規模

全国の保育園・幼稚園・こども園等の数は、5万2,863か所

2023年4月1日時点における未就学児（0～5歳）の数は510万人

一方、他の事業と比較しても保育所等訪問支援事業所の増加率は低く、参入障壁の高さを示している



■ 保育所等訪問支援事業所数
■ 児童発達支援事業所
■ 放課後等デイサービス

全国の未就学園数

	(か所)
保育園	23,806
幼稚園	8,837
こども園	8,271
小規模保育等	7,512
企業主導型	4,437
合計	52,863

こども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ（令和5年4月1日）」
 文部科学省総合教育政策局調査企画課「令和5年度学校基本統計（学校基本調査の結果）確定値」
 公益財団法人 児童育成協会「企業主導型保育施設一覧」
 総務省（2023）「我が国のこどもの数」
 厚生労働省 社会福祉施設等調査

AIAI VISIT の療育サービスについて

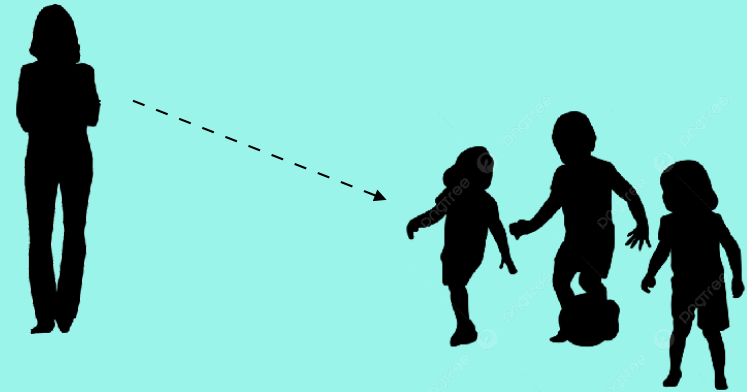
1 個別支援

支援員と園児が1on1で療育を提供するスタイル
集中的に運動と学習のトレーニングを行うため効果が表れやすい



3 間接支援

担任の保育者や園児に関わる関係者が支援対象
園児の発達の課題や支援方法について提案・協議を行う



2 集団支援

支援員が集団の中に入って、子どもと一緒に活動する
ルールを守るなど対人スキルを確認して支援する



4 フィードバック

契約者である保護者に対して、現時点での園児の発達の課題や
療育の進捗などを共有し、訪問支援の成果を報告する



AIAIグループの優位性

療育サービスの優位性

- 1 学習と運動が一体化された独自の療育プログラム
- 2 問い合わせから最短2週間後に療育を提供
- 3 発達分析機能によるエビデンス療育の提供

×

スタッフ確保の優位性

- 1 業界経験者へのインセンティブ設計
- 2 担当制による有資格者の短時間勤務
- 3 独自の社内トレーニング体制

AIAIグループの基盤

- 1 **Data Driven** (研究機関と連携した調査・直営認可保育所によるデータ活用)
- 2 独自社内システムを活用したDX化、AIによる発達分析の効率化
- 3 AIAI NURSERYによって培った保育士採用力

療育サービスの優位性

1

学習と運動が一体化された独自の療育プログラム

同業他社の中で唯一、運動と学習のプログラムを提供。
学習への集中力が高まり、療育の効果が向上。*1

2

問い合わせから最短2週間後に療育を提供

IT化により効率化されたオペレーションにより、最短期間で療育提供を可能に。
他社、自治体直営の発達支援センターの1/4に短縮。

3

発達分析機能によるエビデンスのある療育の提供

特許技術を活用したAIによる発達分析により、子どもの発達の進捗を可視化。
療育開始時点と終了時点の発達状況を示すことで当社の療育品質を示す。*2

*1 当社調査により、運動後の学習により学びの生産性が約25%向上したことを確認

*2 特許番号 特許7179217、発明の名称 発達確認装置、発達確認方法、及びプログラム


1

学習と運動が一体化された独自の療育プログラム

当社は、訪問先で個別支援を実施するため、早期に療育の効果が表れやすい
 集団支援をメインとしている他社と比べて選ばれやすい

一般的な療育事業者

集団と間接の支援がメインだから加配保育者と同じ動きで以前と何も変わらない！



担任保育者

AIAI PLUS VISIT

個別支援のトレーニングで、園児の状態がどんどん良くなっていく！



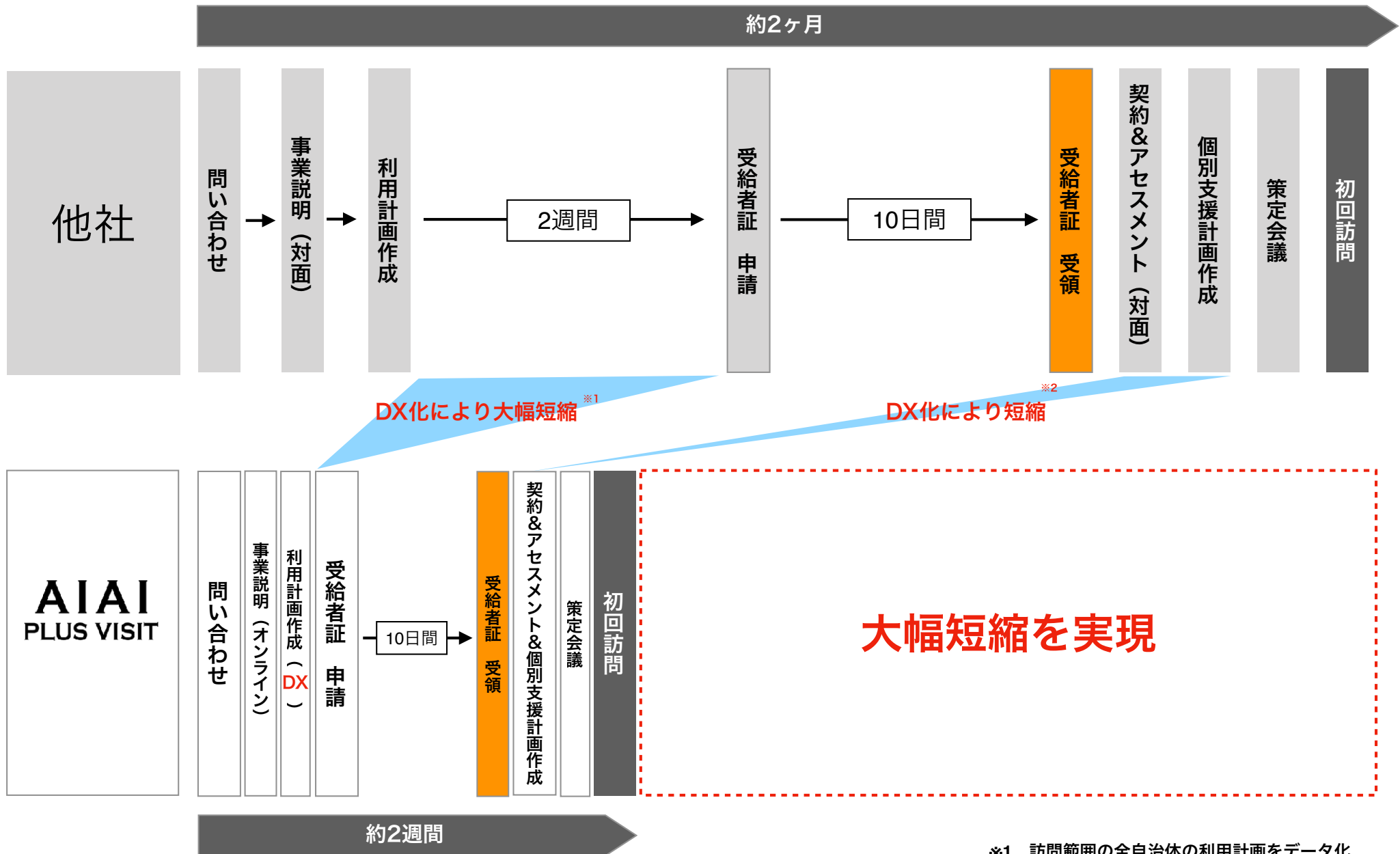
担任保育者

事業者別の療育サービス一覧

	個別支援	集団支援	観察支援	フィードバック
AIAI PLUS	○	○	○	○
発達支援センター	×	○	×	△
A社	×	○	×	○
B社	×	○	○	○

2

問い合わせから最短2週間後に療育を提供



※1 訪問範囲の全自治体の利用計画をデータ化
※2 利用計画と個別支援計画を同時作成

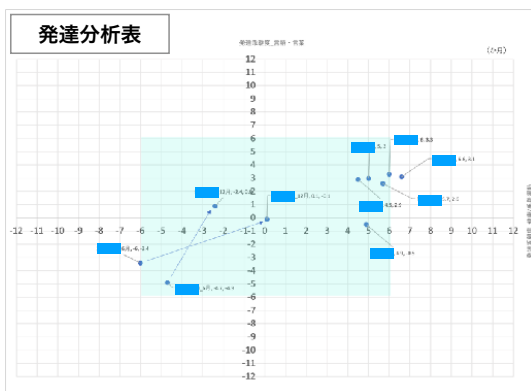
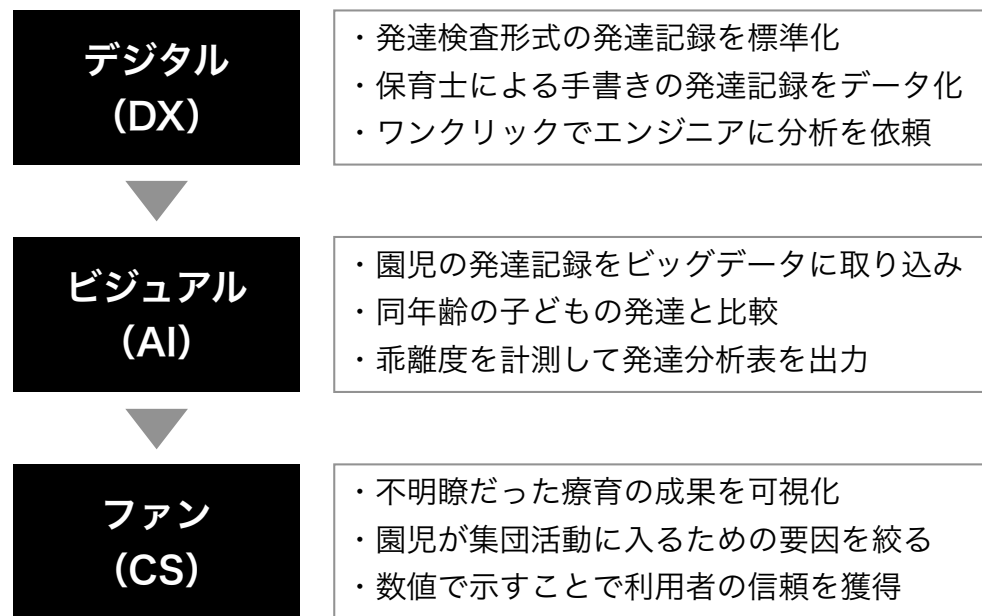
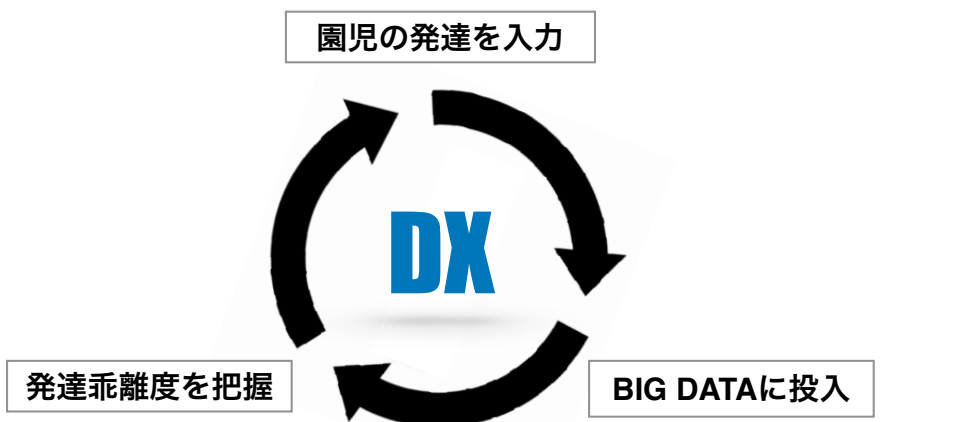
3

発達分析機能によるエビデンスのある療育の提供

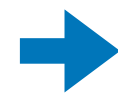
AIAI NURSERYの全園児約5,000人の発達記録ビッグデータと照らし合わせることで、当該園児の発達と同年齢の子どもの発達の乖離度を可視化。

園児の発達状況を把握して利用者と共有

【独自技術】 発達分析機能による3つのステップ



療育開始時点から現在に至るまでの間に、園児の発達状況が同年齢の子どもの発達状況に対して、どれくらい近づいたかを可視化する独自技術。本技術により、これまで不明瞭だった療育にエビデンスが付加された。



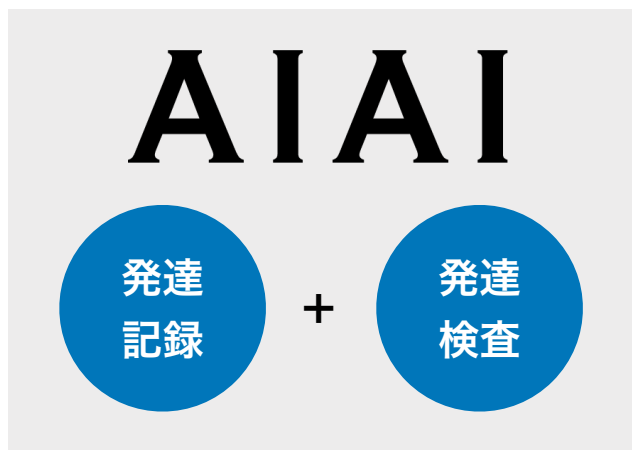
AIを活用した
集団活用に参加
するための療育



3 AIAIの独自技術（発達分析表）

AIAI独自の発達記録を生成し、3ヶ月に1度のペースでAIAI NURSERYの全園児の発達をデータ化
当該園児の発達の推移を3ヶ月単位でモニタリング可能

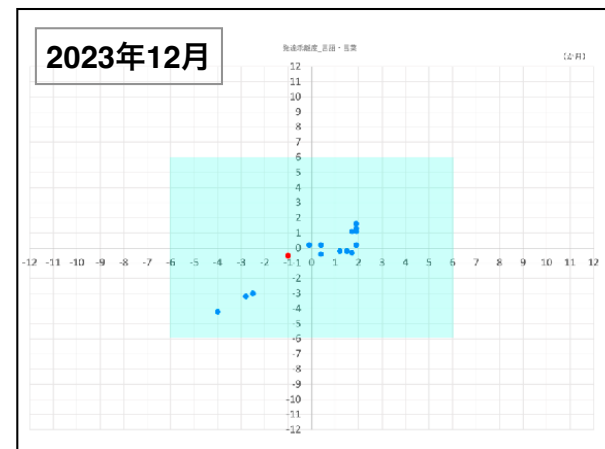
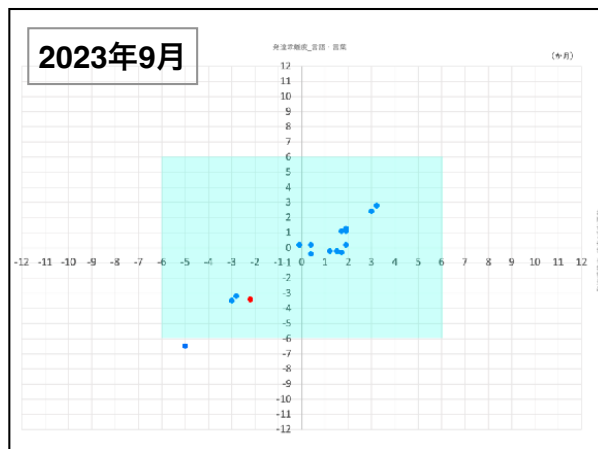
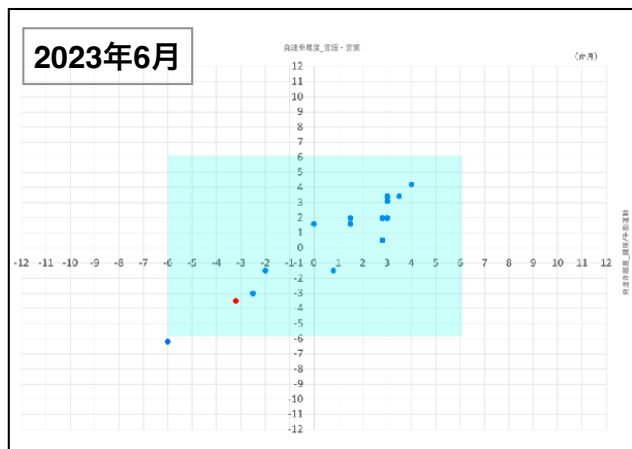
言語面と運動面で約3ヶ月の発達の遅れが見られれていた園児は、療育提供から6ヶ月が経過した頃には
ほとんど平均値まで向上し、集団活動に取り組むことができるまでに成長



5歳児の発達記録の一例

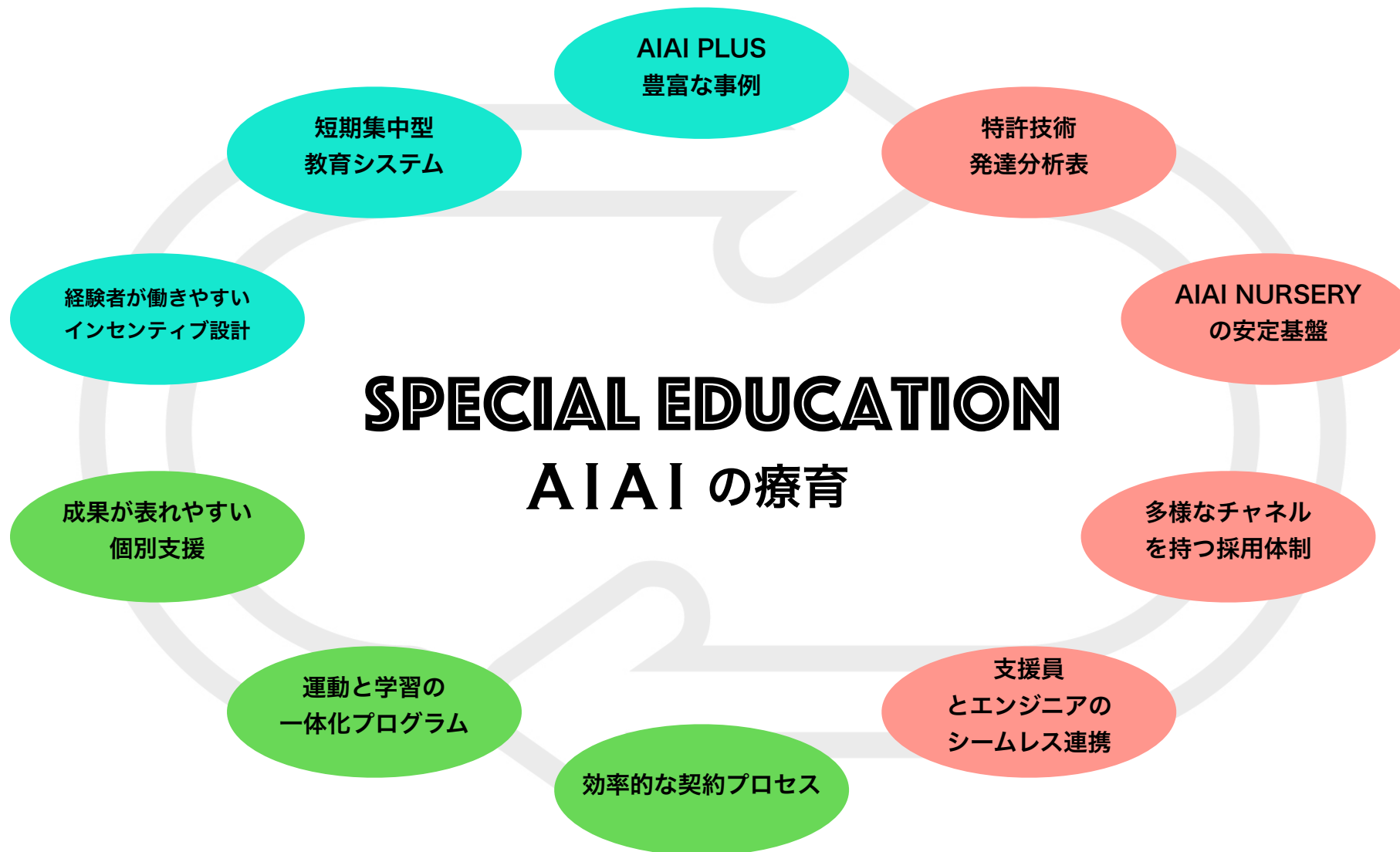
- 健康・運動 走り縄跳びができる
- 健康・運動 走りながらボールを蹴ることができる
- 言語・言葉 保育者が読んだ絵本の主人公の感情についての感想を言える
- 言語・言葉 替え歌を歌ったり、自分独自の歌を歌ったりする
- 表現 友達と一緒に1つ製作物を製作することができる
- 表現 自分が知っている人物やキャラクターを絵に描く
- 人間関係 保育者や友達に自分から声をかけて遊ぶことができる
- 人間関係 遊びのルールを守って遊ぶことができる
- 環境 デジタル時計（針時計ではない）を読むことができる
- 環境 室内で玩具以外の物を使って工夫して遊ぶ

発達分析表の実例

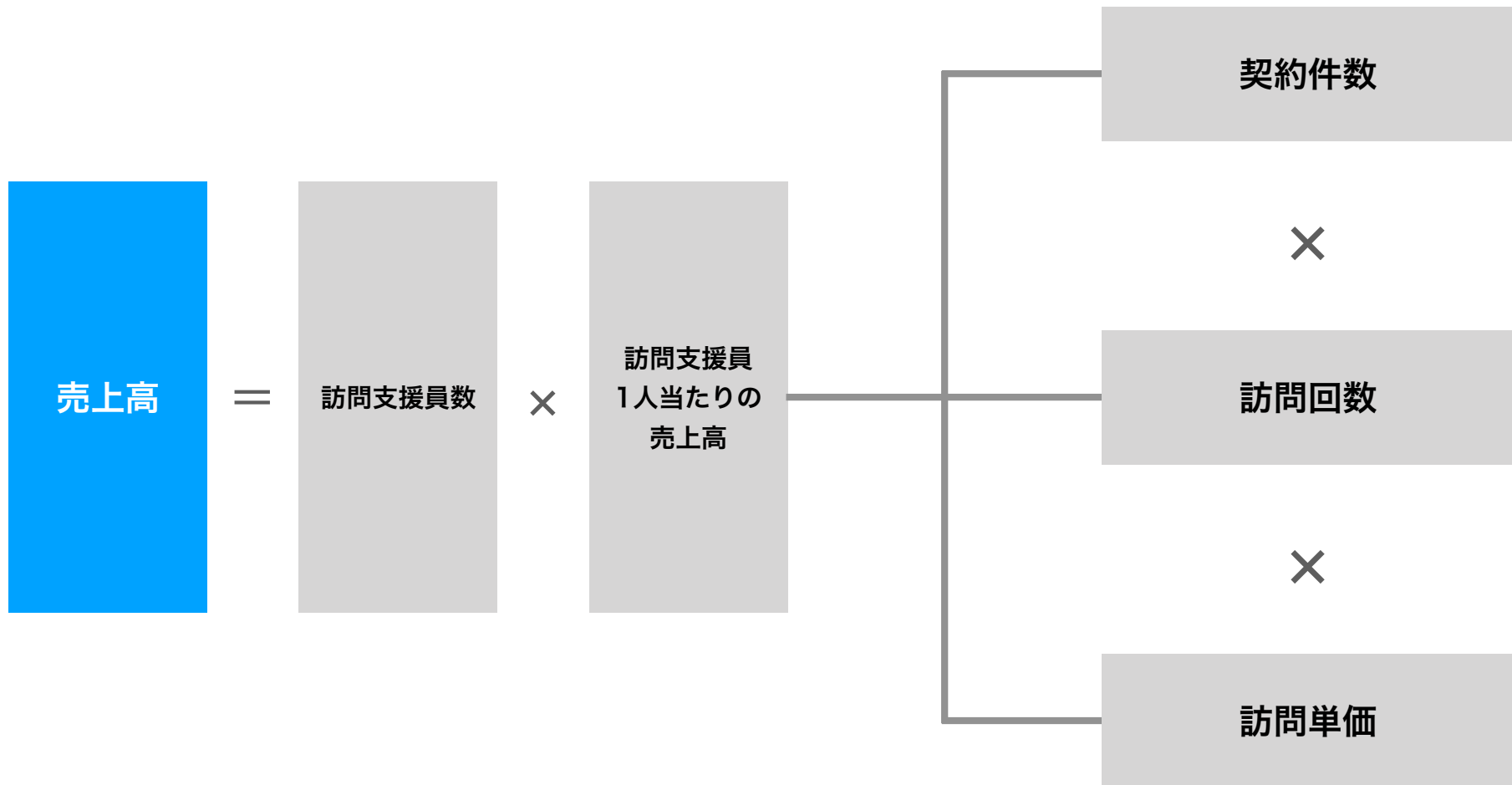


模倣できない独自の療育手法

A I A Iグループ最大の資産であるAIAI NURSERYから蓄積されたデータを活用した技術を確立。
同業他社には模倣困難なサービス提供体制により優位性を発揮。



AIAI VISIT 訪問支援の収益構造



AIAI VISIT の採用戦略

限られた方法や媒体にこだわることなく、多様なチャネルからの専門職を採用
短期集中型の教育体制、経験に応じたインセンティブ、AIAI三育圏の拡大へコミットする専門職を採用

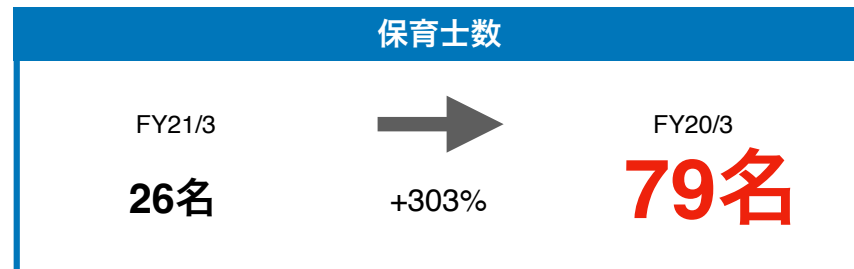
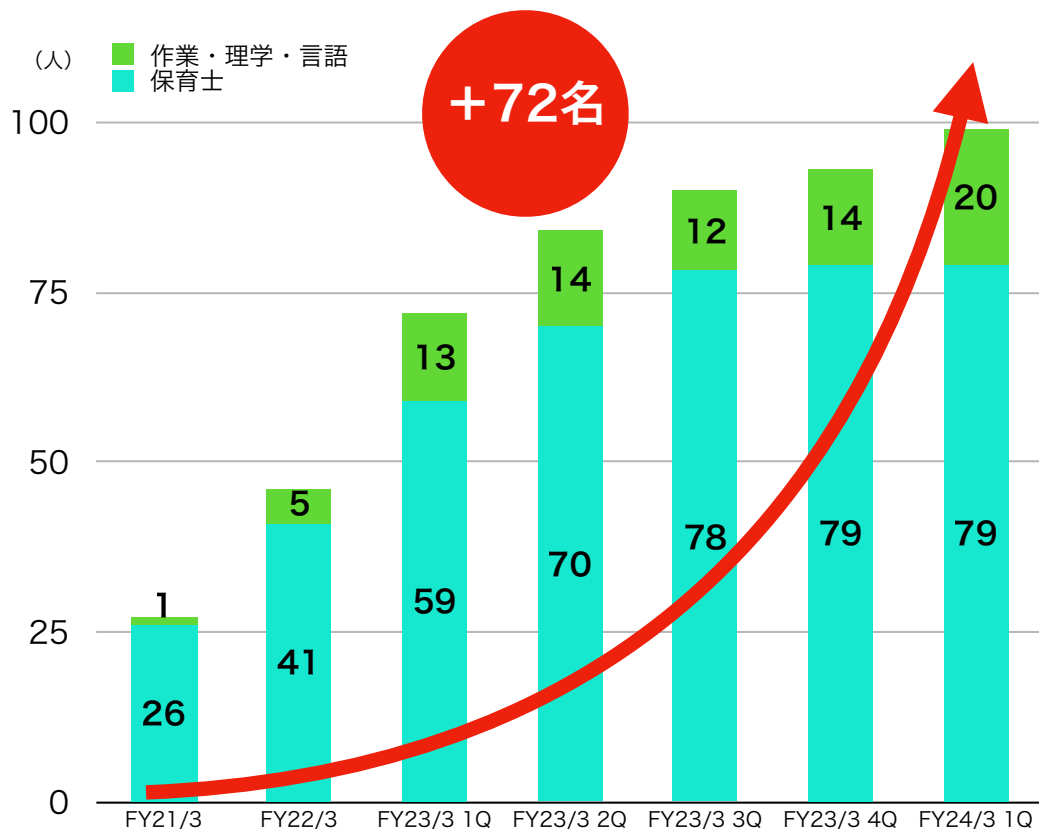
採用戦略

多様なチャネルからのアプローチ



当社で働く明確な理由
AIAI三育圏の拡大

専門職の推移



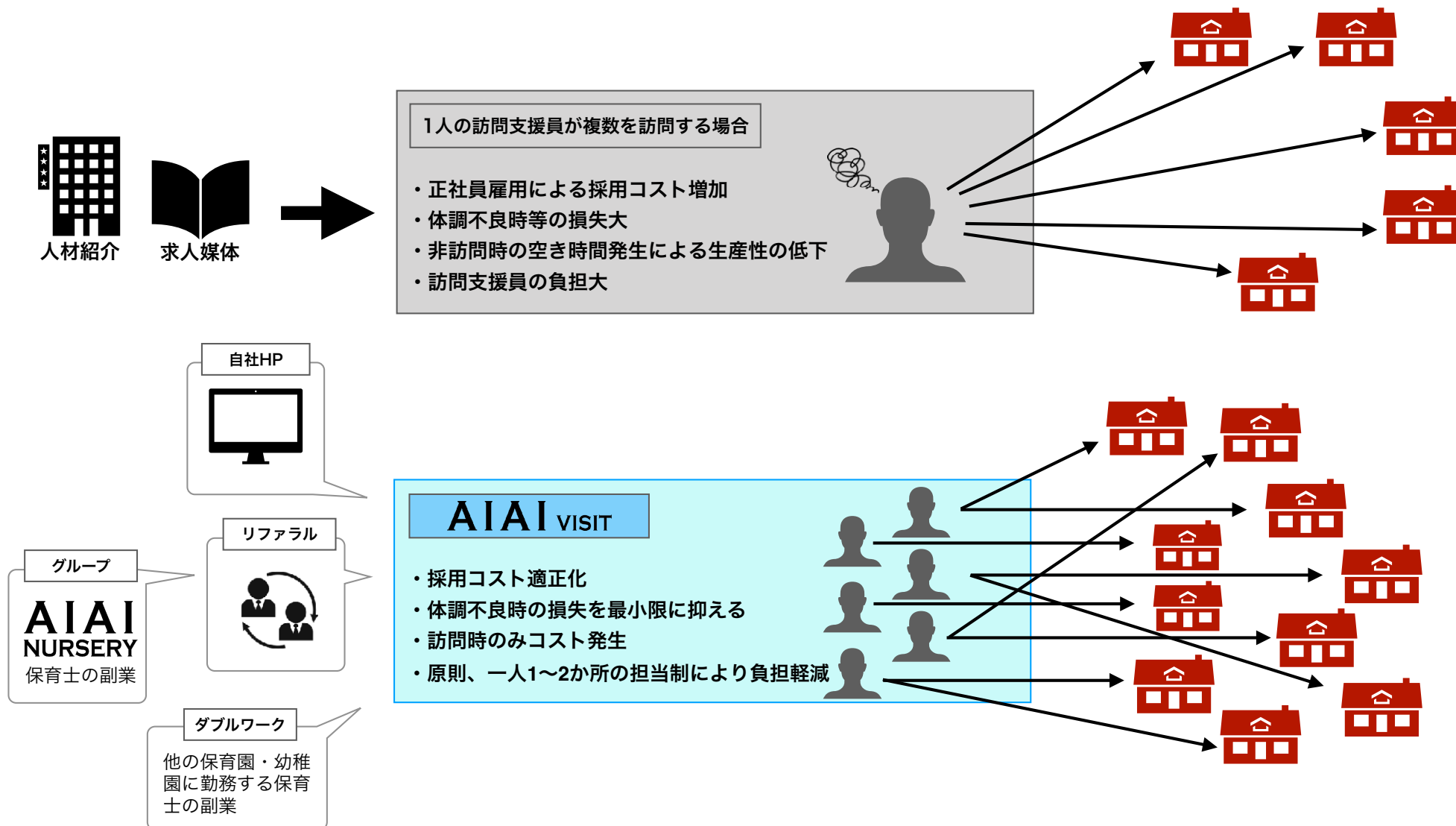
AIAI NURSERYで培った保育士採用ノウハウにより
保育士・専門職数は好調に推移



AIAI VISIT 多様なチャネルからアプローチ

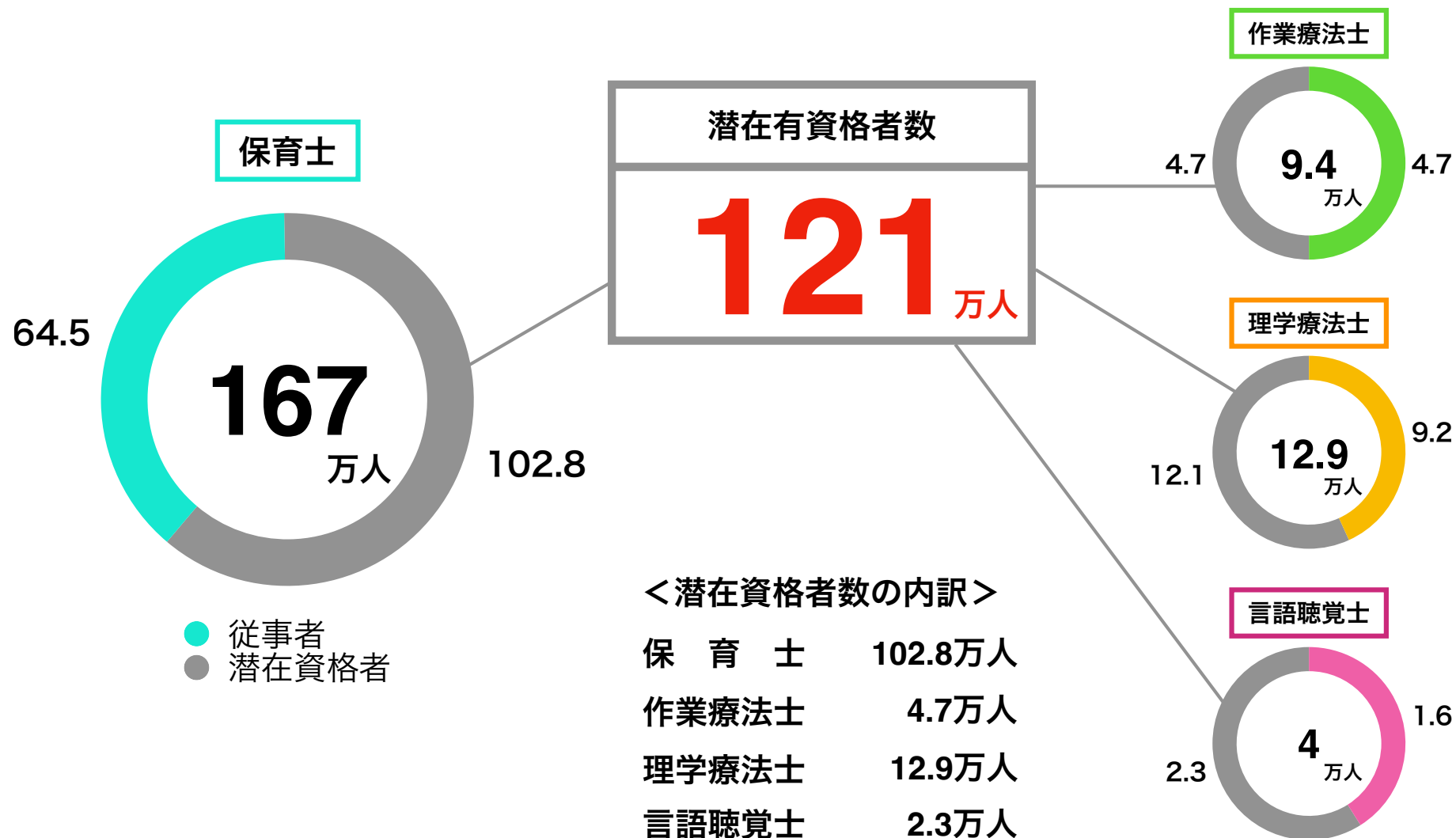
多様なチャネルから有資格者を採用できる体制を構築

必要な時に必要な訪問支援員を確保することで、無理無駄のない訪問体制を構築



潜在有資格者を掘り起こす

専門資格を有していながらも資格を使った職業に従事していない潜在有資格者数は全国113万人
 担当制採用により潜在有資格者の方々が働きやすい環境を用意



出所：保育士 厚生労働白書
 作業療法士 日本作業療法士協会 会員統計資料
 理学療法士 日本理学療法士協会 統計情報
 言語聴覚士 日本言語聴覚士協会

AIAI VISIT の品質管理

訪問支援サービスの品質を確保するために、訪問前の初期研修、訪問後に定期開催される集合研修、訪問後のインスペクションを抜き打ちで実施

初期研修



座学研修

8

時間



確認テスト

1

時間



現場OJT

3

回



訪問キット

7

点

×

集合研修



毎月開催

リフレクション

事例紹介

専門家の講義

×

インスペクション



療育現場



インスペクター

全スタッフを抜き打ち訪問

約100項目のチェック

7段階の評価

AIAI VISIT で働く理由

プログラム、インセンティブ、デジタルデバイス、教育体制など、訪問支援員が働きやすい環境と設備を用意し、AIAI三育圏の拡大へのコミット力を高める。

療育体制	×	働きやすさ	×	教育体制
1 学習と運動が一体化された独自の療育プログラム 定評のある確立された独自のプログラムにより、効果的な療育を提供しやすい。		1 担当制採用による無理・無駄のないスケジュール管理 自身が担当する子どもに集中できる働きからが可能に。非連続的な働き方を実現。		1 徹底した初期トレーニング試験制度により品質を担保 集中的な座学研修の後に試験を通じて専門知識を担保。合格後にOJTによりオペレーションを確認。
2 問い合わせから最短2週間後に療育を提供 雇用契約後、すぐに療育の提供が始まるためスケジュールを組み立てやすい。		2 合理化された教材プログラムと訪問キットツール 訪問時に必要な備品等を全て無償貸与。デジタルツールなども完備。		2 月1の全体ミーティング 自身の療育をリフレクション 毎月の全体ミーティングでは、他のスタッフとの情報共有と意見交換を通じたリフレクションを実施。
3 発達分析機能によるエビデンスのある療育の提供 利用者に対して、自身の療育の成果を示すことができるため自信が芽生える。		3 経験に応じたインセンティブ設計 訪問回数と経験年数が増えるに従って給与が向上する制度を構築。		3 療育の教科書 当社が監修した「AIAI式療育の教科書」を貸与。標準化された療育の提供を目指す。

AIAI VISIT 契約件数の獲得

動画コンテンツ、メディア、セミナー、保育事業者へ積極的にアプローチ

営業戦略

1 セミナー開催



保護者と保育者向けに
ウェビナー・セミナーを開催

2 動画コンテンツ・メディア掲載



各種動画コンテンツに出演
AIAI PLUS VISITの認知度
向上を図る

3 保育事業者へ直接アプローチ

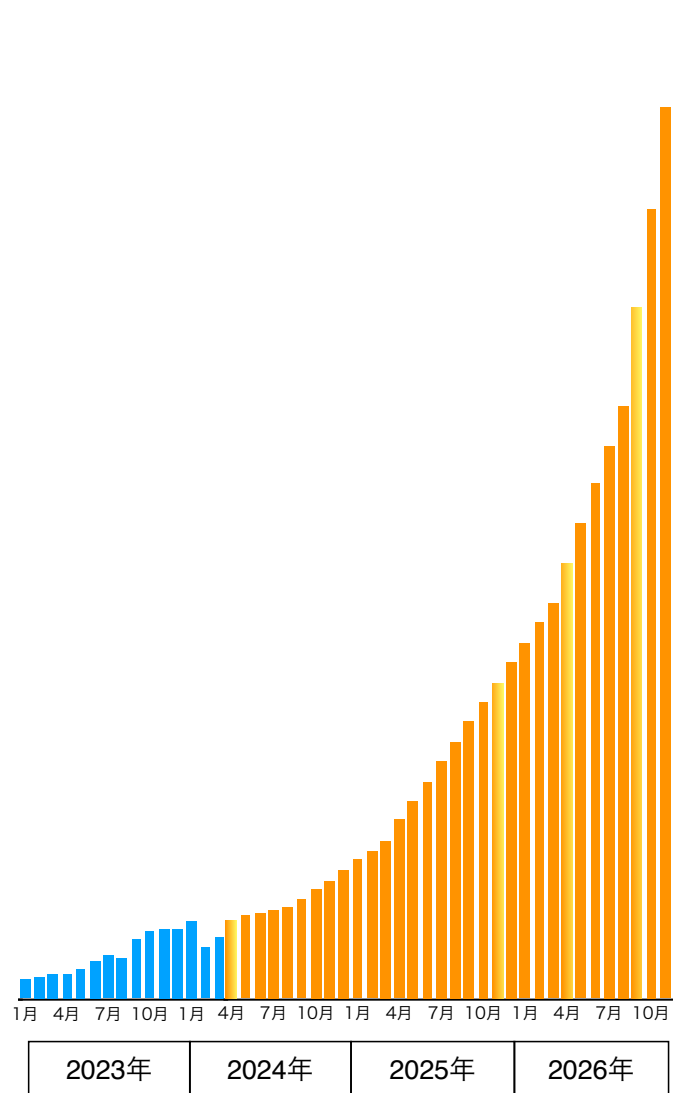


株式会社日本保育サービス
JP HOLDINGS GROUP

保育事業者向けに
AIAI VISITの説明会を実施

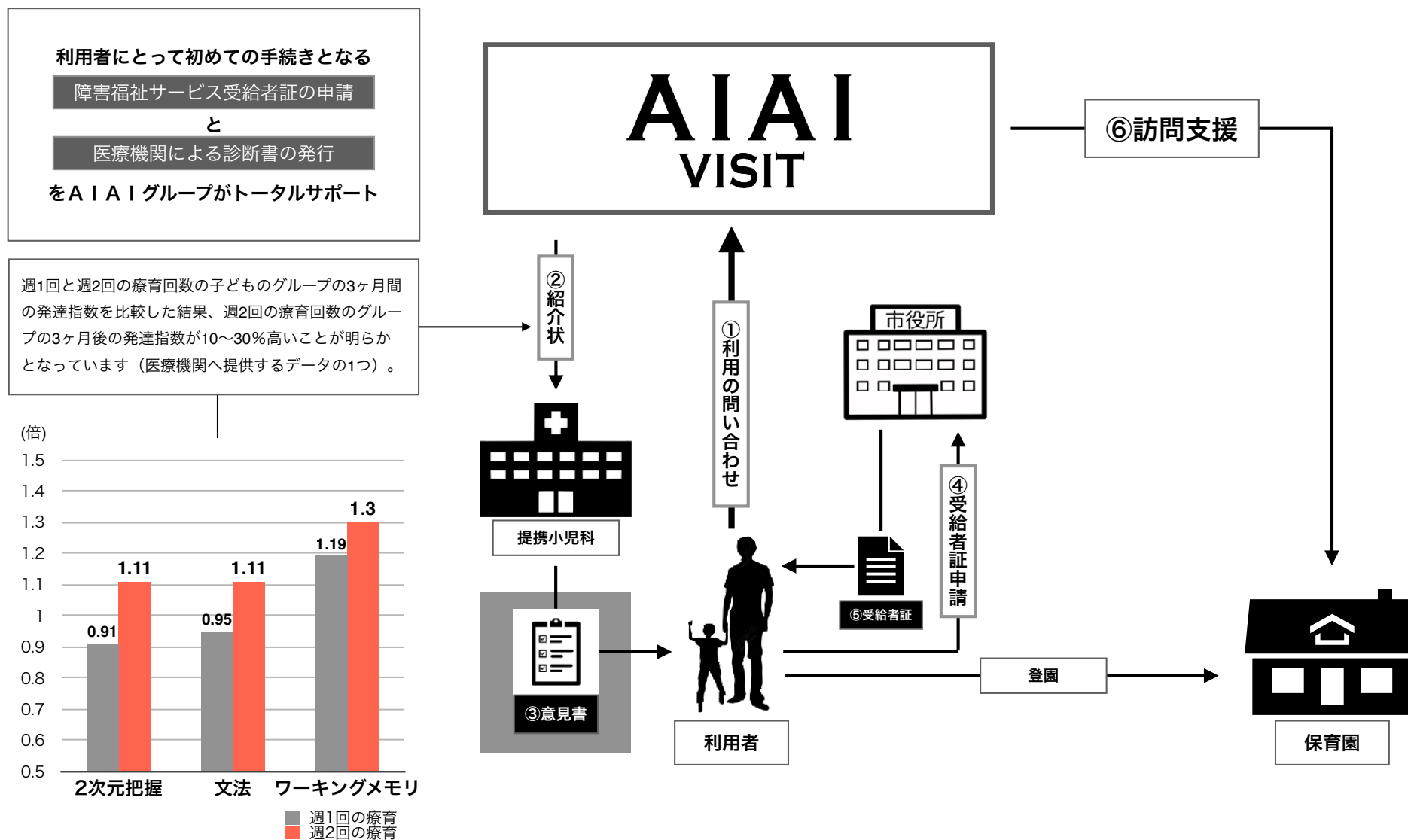
大手保育事業者へのサービ
ス提供に向けて協議を開始

■ 訪問実績 ■ 目指すイメージ



AIAI VISIT が提案する訪問回数

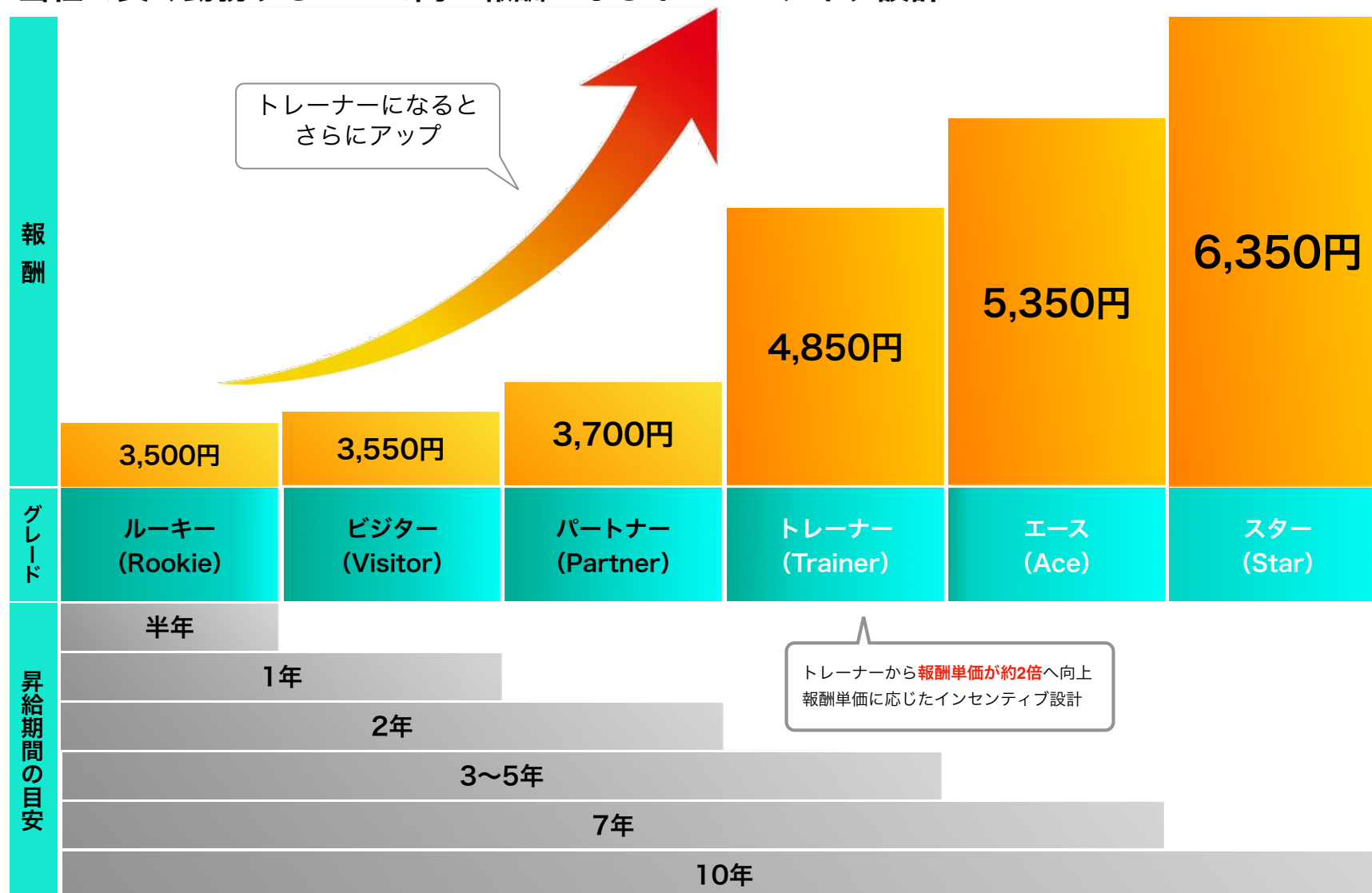
お問い合わせいただいた利用者に対して、AIAIが提携する小児科病院の提携医に紹介状を発行
先例と児童の発達状況を鑑みて、適正な訪問回数が記載された意見書を発行



AIAI VISIT が高める訪問単価

障害児経験5年から訪問単価が大幅に増加

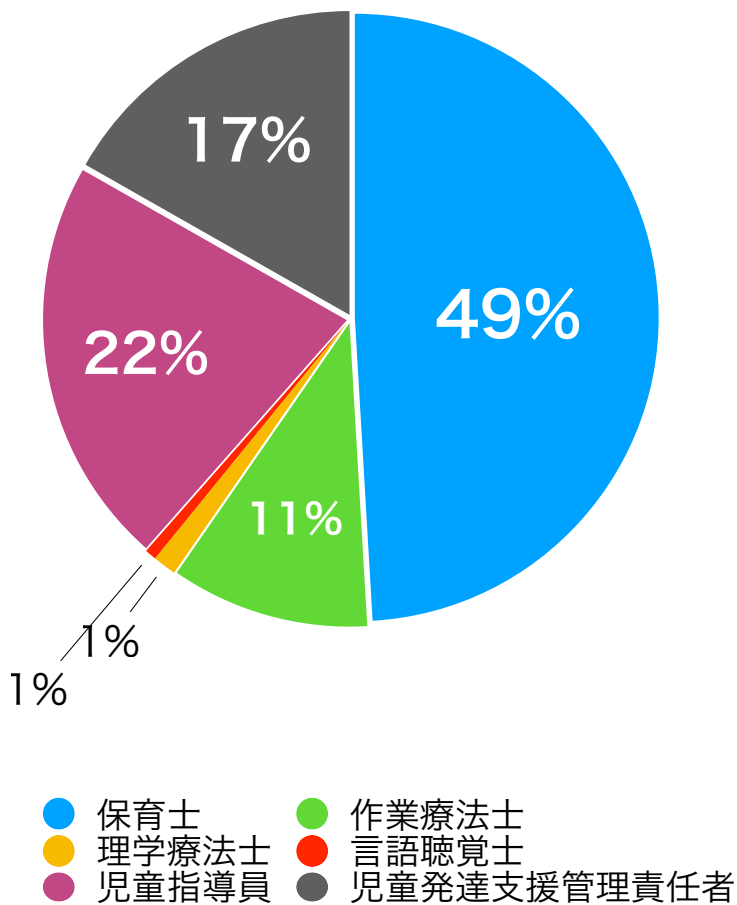
当社で長く勤務することで高い報酬となるインセンティブ設計



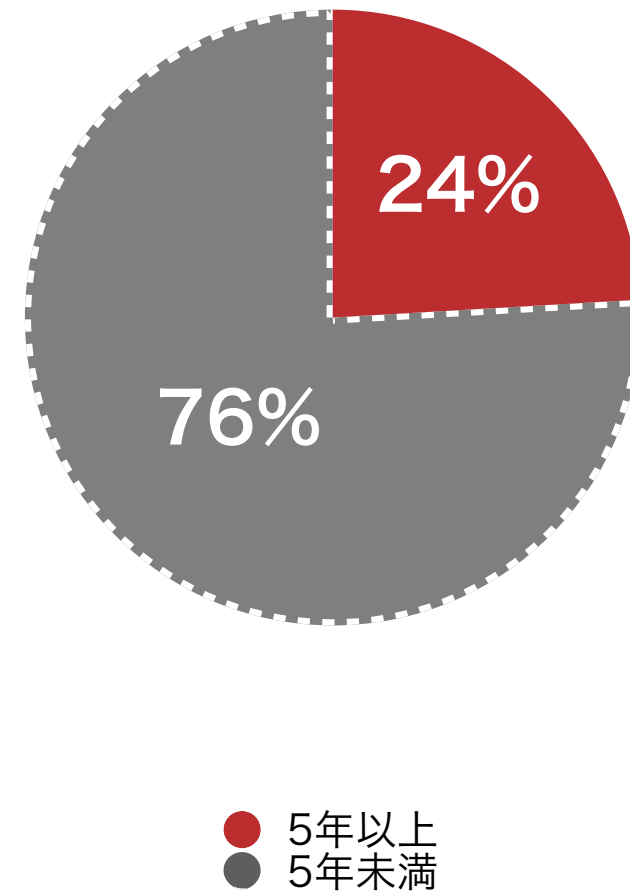
報酬は訪問1回あたり子ども1人の療育提供に対して支払われる金額

AIAI PLUS 支援員の構成

保有資格別構成比

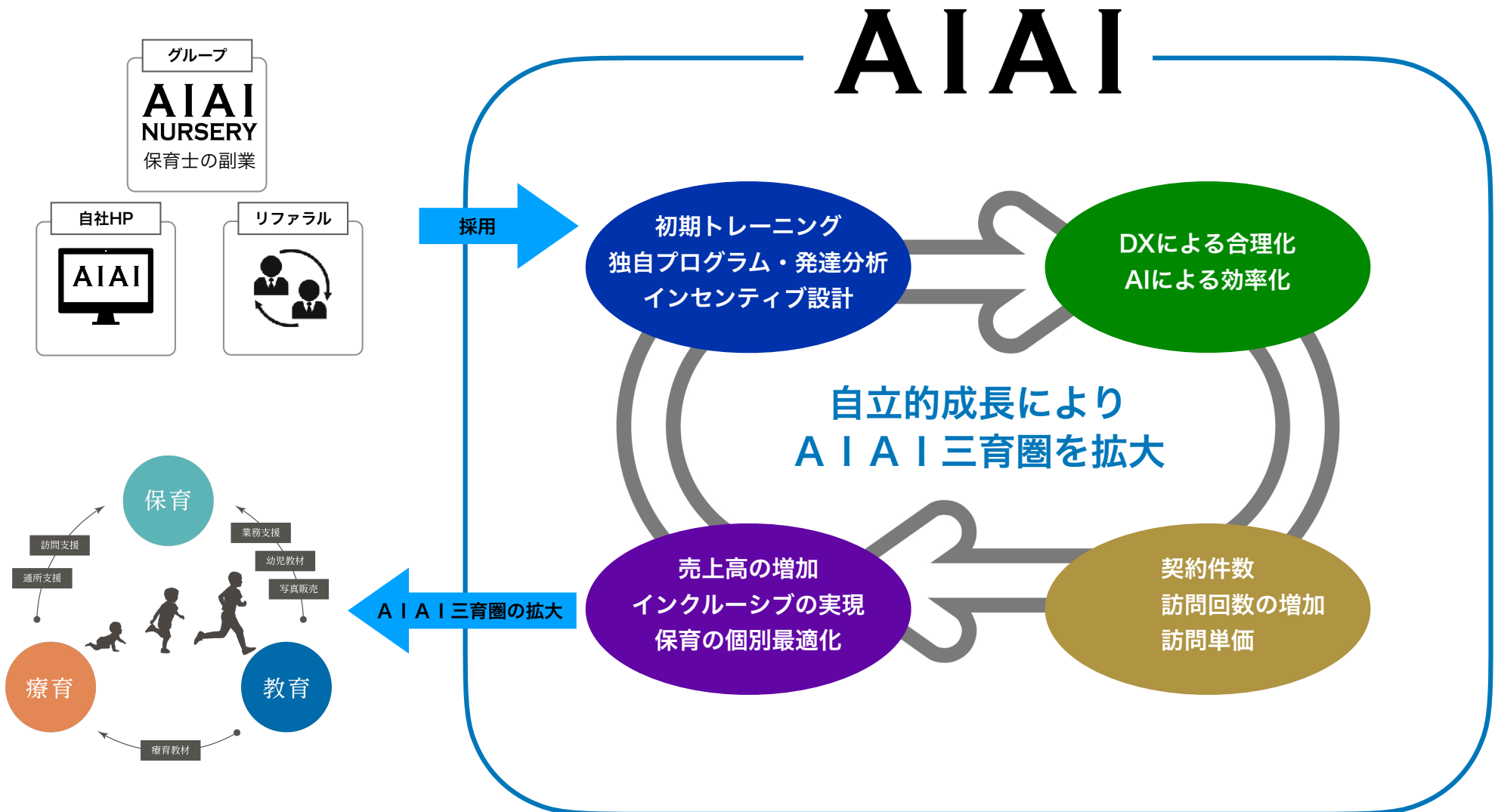


障害児施設の勤務経験年数



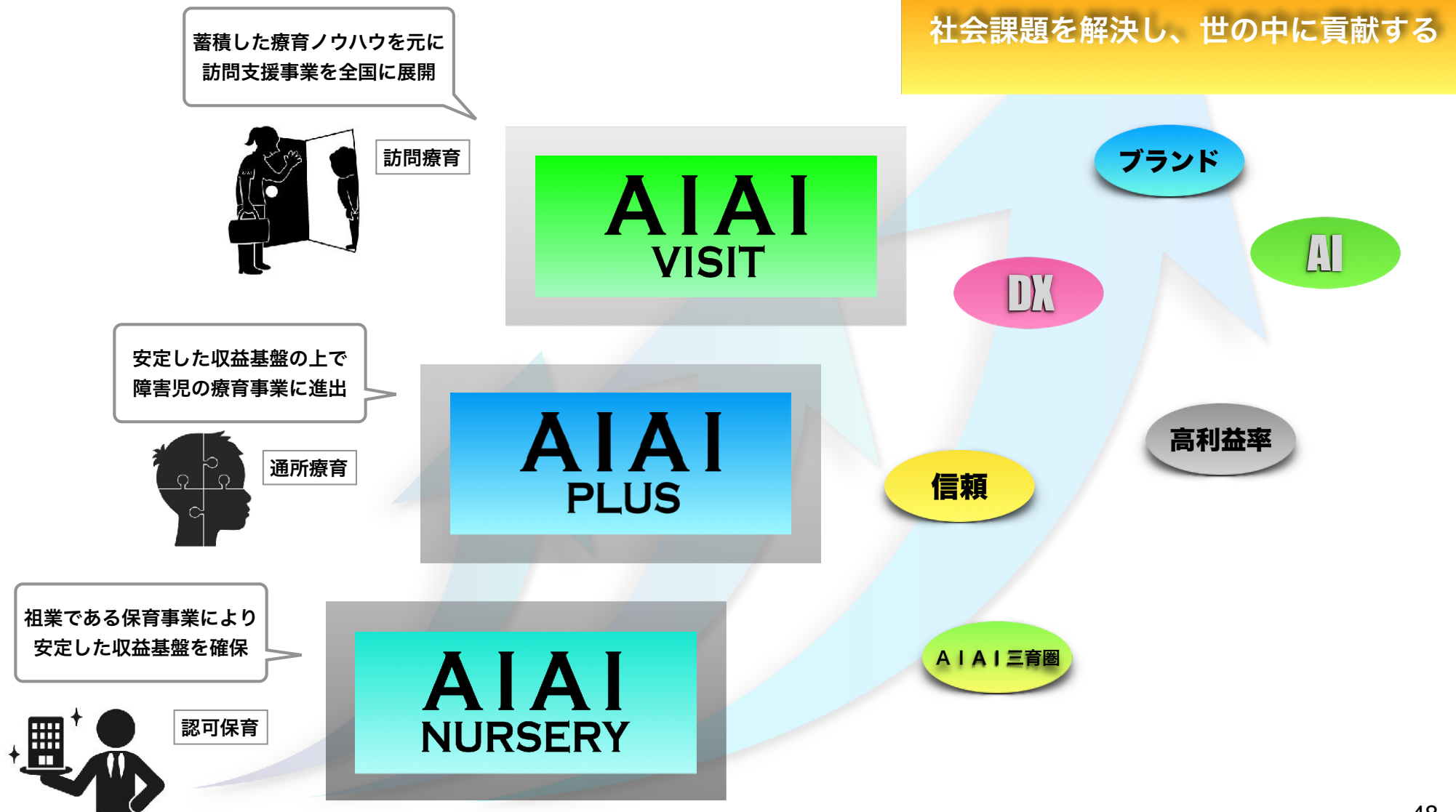
AIAI VISIT により A I A I 三育圏をさらに拡大

採用した訪問支援員を集中的に教育する制度を構築



AIAIグループの展望

保育・療育・教育を一体的に提供するAIAI三育圏を基本戦略に置き、ビジョンの達成に向けて事業間シナジーを最大限に高める。



業界団体への参画

保育業界のサービス品質の向上や健全な発展のために以下の業界団体へ加盟
保育の質に関する共同研究や保育制度に関する政策提言を行うことで貢献



名称	一般社団法人 日本保育連盟
設立	2024年4月
所在地	東京都新宿区
活動	保育・幼児教育に関する調査、研究、指導及び情報提供 保育・幼児教育に関するシンポジウム、勉強会の企画及び開催 保育・幼児教育に関する政策提言、等



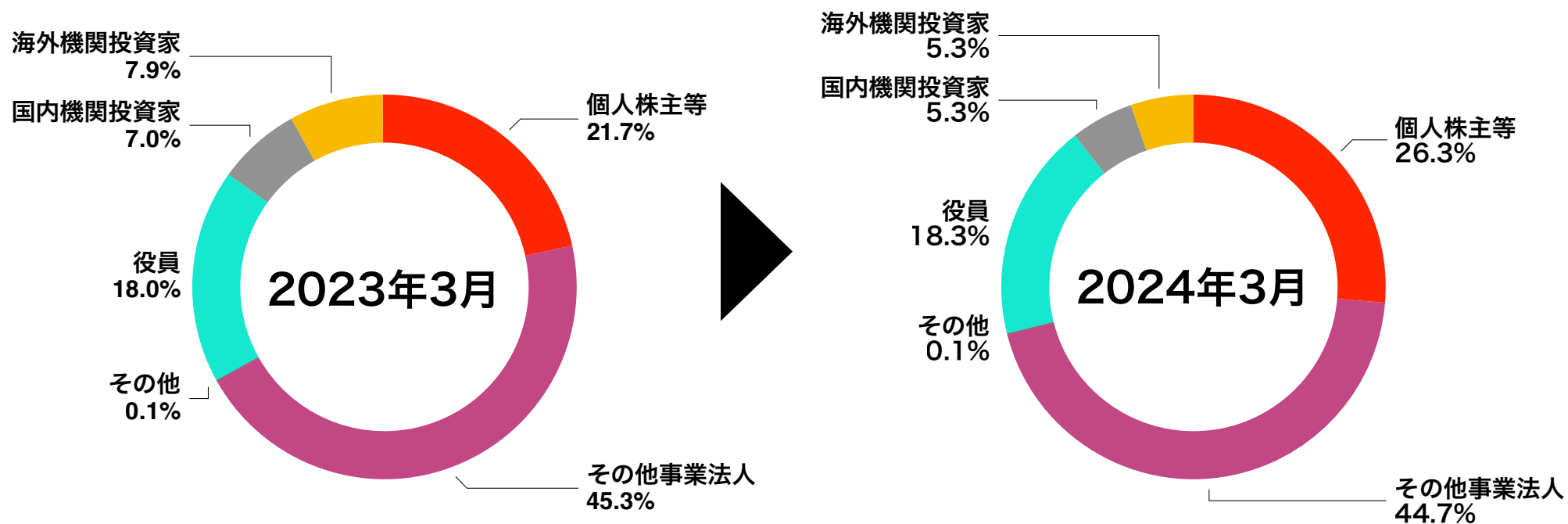
名称	一般社団法人 日本社会福祉マネジメント学会
設立	2013年3月
所在地	東京都新宿区
活動	社会福祉に関する制度、環境、社会、実情、労働及び経営等の分野における諸課題における調査及び研究を行い、社会福祉業界の知識と経験を広く活用して政策を提言し、実現に向けて働きかけること、等



名称	一般社団法人 全国保育連盟
設立	2017年3月
所在地	東京都港区
活動	子ども家庭庁保育課・保育政策課・成育環境課との定期懇談会の開催 都道府県・基礎自治体に対する要望書等の提出 都道府県・基礎自治体の担当課との意見交換会の開催、等

株主構成について

今後は株主数の増加に向けて、積極的にIR活動に取り組む方針



株主還元について

現時点においては、配当等の実施時期等については未定
中長期的に達成すべき自己資本比率や保持すべき現金保有水準を検討を継続



生産性を高めて企業価値を向上させるために、既存事業への人的資本投資を継続

また、新規事業AIAI VISITへ積極的に投資する方針

さらに、同業他社のM&AによるA I A I 三育圏の範囲の拡大を目指しており、M&A資金として内部留保を進める

免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。

当社は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としております。また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。

したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容につきまして、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開または利用することはご遠慮ください。